
下川町総合計画アンケート報告書

令和5年3月
下川町

目次

I 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の実施概要	1
3. 本報告書をみるにあたって	1
4. 回答者の属性	2
(1) 性別	2
(2) 年齢	2
(3) 職業	3
(4) 通勤地	3
(5) 家族構成	4
II 調査の結果	5
1. 施策の満足度について	5
(1) 医療・福祉について	5
(2) 教育・文化・スポーツについて	9
(3) 生活環境・安全安心について	12
(4) 行政情報の提供について	18
(5) まちづくりに対する満足度と関心度	19
(6) 施策の満足度の平均値	20
2. 定住・生活環境について	22
(1) 住み心地	22
(2) 今後の居住意向	24
(3) 住み続けたい理由	26
(4) 転居したい理由	27
3. 公区活動・社会活動への参加について	28
(1) 参加状況	28
(2) 参加しない理由	32
(3) 社会活動や住民参加のまちづくりを進めるうえで必要と思うこと	33
(4) 公区活動や社会活動の中で協力して取り組めるもの	34
4. 行政情報について	37
5. 各分野において重点的に取り組むべき施策について	38
(1) 農業振興で今後重要な施策	39
(2) 林業・林産業振興について	41

(3) 商工業振興について	43
(4) SDGs 未来都市の推進について	52

I 調査概要

1. 調査の目的

本調査は、令和5年度に予定している第6期下川町総合計画(中期計画)の策定にあたり、町の現状評価や町政に対する意向確認など、町民の意識構造の実態を把握し、今後のまちづくりを進めるための基礎資料とするために実施したものである。

2. 調査の実施概要

(1)調査対象	令和4年4月1日現在18歳以上で、令和4年9月1日時点で、下川町に住民票がある人
(2)調査範囲	町内全域
(3)調査方法	郵送調査とインターネット調査(googleフォーム)の併用
(4)調査期間	令和4年11月14日～12月5日
(5)調査数(配布数)	2,560票
(6)回収数/回収率	998票/39.0% うち郵送830票、インターネット168票

3. 本報告書をみるにあたって

- ①比率は全て百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しているため、合計が必ずしも100%にならない場合がある。
- ②同じ理由で複数のカテゴリーの人数(「満足」と「やや満足」など)を合わせて算出した百分率は、本報告書内に掲載されている各カテゴリーの百分率を足し合わせた数字とは一致しない場合がある。そのため、「結果の要約」欄で複数のカテゴリーを統合して百分率を算出した場合は、人数も併記した。
- ③「複数回答」とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を選択してもよい問であるため、各回答の合計比率が100%を超える場合もある。
- ④単純集計は無回答者を含めているのに対し、性別や年代別の集計では無回答者は含めていない。そのため、全体の人数は単純集計と異なる。

4. 回答者の属性

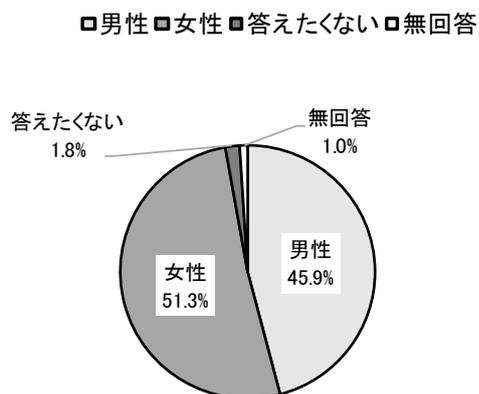
(1) 性別

【問1】あなたの性別を教えてください

- 回答者の性別は、男性が45.9%、女性が51.3%であった

問1 性別(全体=998人)

	人数	%
男性	458	45.9
女性	512	51.3
答えたくない	18	1.8
無回答	10	1.0
全体	998	100.0



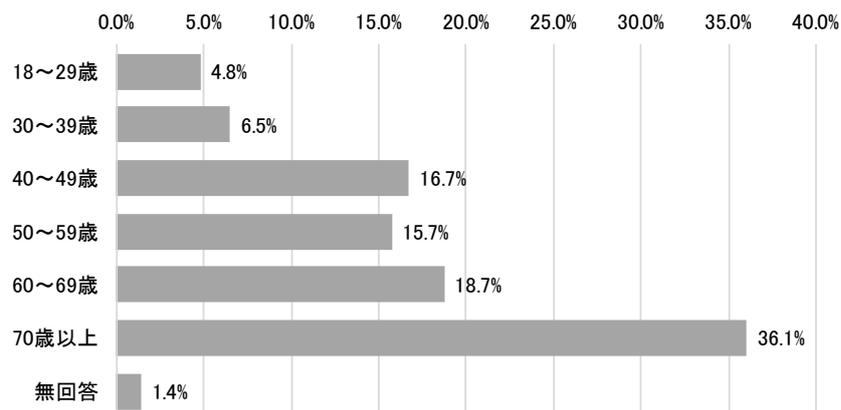
(2) 年齢

【問2】令和4年4月1日現在で何歳ですか

- 70歳以上が最も多く36.1%、ついで60歳代が18.7%、40歳代の16.7%が続く
- 18歳から29歳は4.8%、30歳代は6.5%と、若い世代の割合が小さい

問2 年齢(全体=998人)

	人数	%
18~29歳	48	4.8
30~39歳	65	6.5
40~49歳	167	16.7
50~59歳	157	15.7
60~69歳	187	18.7
70歳以上	360	36.1
無回答	14	1.4
全体	998	100.0



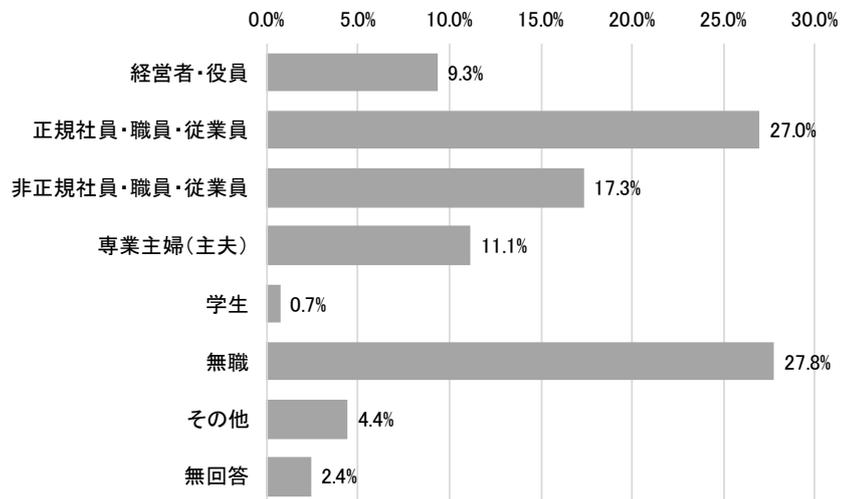
(3) 職業

【問3】就業状況は、次のどれにあたりますか

- 無職が 27.8%と最も多い
- ついで多かったのは正規社員の 27.0%、非正規社員の 17.3%であった

問3 就業状況(全体=998人)

	人数	%
経営者・役員	93	9.3%
正規社員・職員・従業員	269	27.0%
非正規社員・職員・従業員	173	17.3%
専業主婦(主夫)	111	11.1%
学生	7	0.7%
無職	277	27.8%
その他	44	4.4%
無回答	24	2.4%
全体	998	100.0%



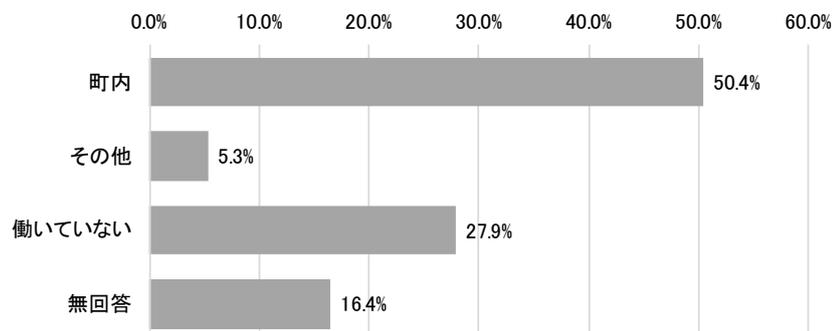
(4) 通勤地

【問4】働いている人におたずねします。通勤地はどこですか

- 「町内に通勤している」との回答が最も多く 50.4%であった
- 「その他」として自由回答欄に記入されていた自治体名は、名寄市 30 名、札幌市 2 名、旭川市 1 名、美深町 1 名、剣淵町 1 名であった

問4 通勤地(全体=998人)

	人数	%
町内	503	50.4%
その他	53	5.3%
働いていない	278	27.9%
無回答	164	16.4%
全体	998	100.0%



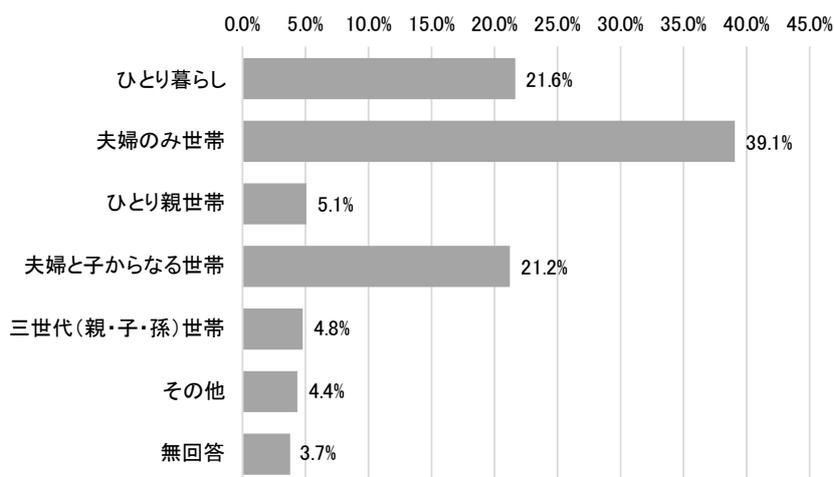
(5) 家族構成

【問5】同居の家族構成は、どれにあたりますか

- 夫婦のみの世帯が39.1%と最も多い
- 次いでひとり暮らしが21.6%、夫婦と子からなる世帯が21.2%と続く
- 「その他」の回答には、「姉妹」「ひとり親と同居」「こども夫婦と同居」「親子と叔母」といった回答があった。
- ただし、本調査は18歳以上の町民全員を対象とした調査であるため、2人以上が暮らす世帯については、同一世帯から複数名が回答している

問5 同居家族(全体=998人)

	人数	%
ひとり暮らし	216	21.6%
夫婦のみ世帯	390	39.1%
ひとり親世帯	51	5.1%
夫婦と子からなる世帯	212	21.2%
三世代(親・子・孫)世帯	48	4.8%
その他	44	4.4%
無回答	37	3.7%
全体	998	100.0%



II 調査の結果

1. 施策の満足度について

【問6】各項目の「あなたが感じる満足度」について、あてはまる番号を1つ選んで○印を付けてください

(1) 医療・福祉について

結果の要約

満足(「満足」+「やや満足」との回答が多い上位3項目は、以下の通りである

- 1位 自分や家族が健康であること(71.1%、710名)
- 2位 健康づくりに取り組みやすい環境(61.4%、613名)
- 3位 安心して医療を受けることができる環境(54.6%、545名)

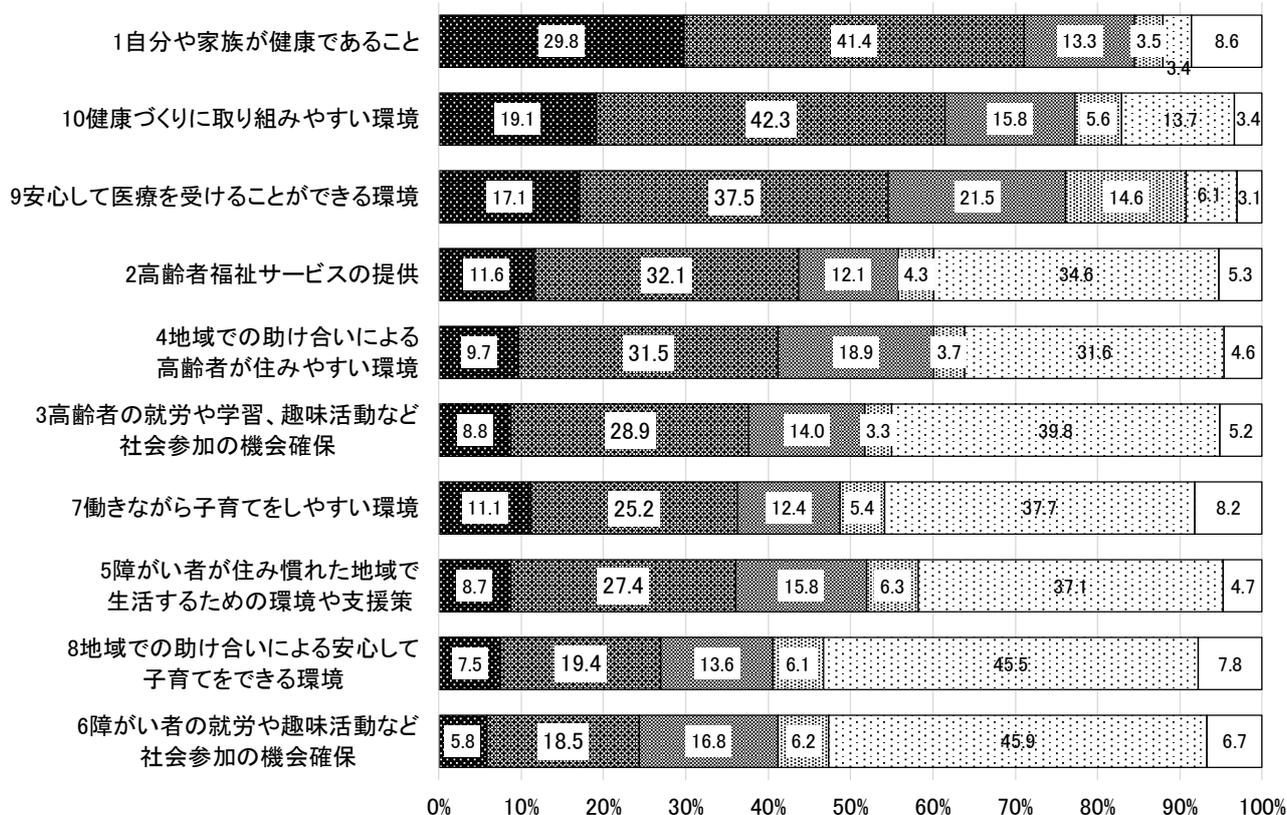
- 上位3項目とも50%以上が「満足」と回答している(「満足」+「やや満足」)
- 上位3項目以外は「わからない」が30%を超える
- 不満足(「不満」+「やや不満」)が最も多いのは「9 安心して医療を受けることができる環境」の36.2%(361名)。本項目は上位(3位)にも入っている一方で、不満も多いことがわかる

下川町の福祉・医療についての満足度(問6 1~10)

「満足・やや満足」の合計値が高かった順

全体=998人(単位:%)

■満足 ■やや満足 ■やや不満 ■不満 □わからない □無回答



前回調査までとの比較

以下は、医療・福祉分野に関する今回調査の結果(表)と、前回までの調査との比較(グラフ)である

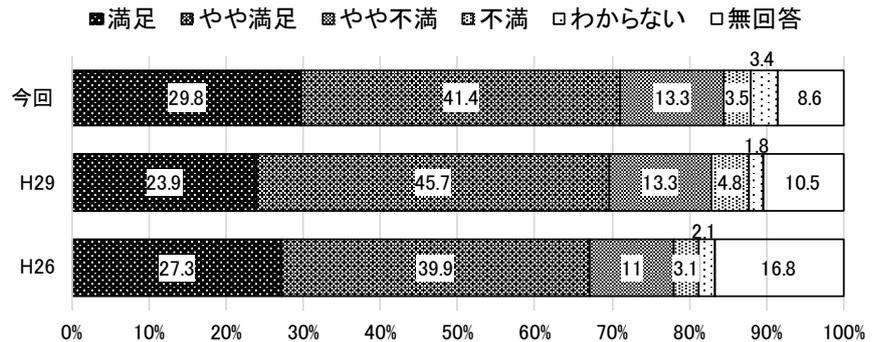
結果の要約

- 「9.安心して医療を受けることができる環境」「10.健康づくりに取り組みやすい環境」で満足度が向上
- 障がい者についての項目(5と6)では、前回に比べると満足度が低下しているものの、前々回と比べると向上
- 無回答は過去2回調査に比べて大きく減少。「わからない」は前回調査に比べて増加傾向

問6_1自分や家族が健康であること

	人数	%
満足	297	29.8
やや満足	413	41.4
やや不満	133	13.3
不満	35	3.5
わからない	34	3.4
無回答	86	8.6
全体	998	100.0

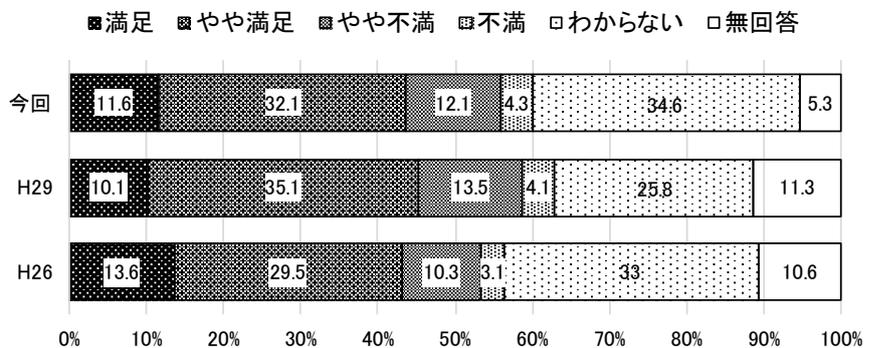
表は今回の結果



問6_2高齢者福祉サービスの提供

	人数	%
満足	116	11.6
やや満足	320	32.1
やや不満	121	12.1
不満	43	4.3
わからない	345	34.6
無回答	53	5.3
全体	998	100.0

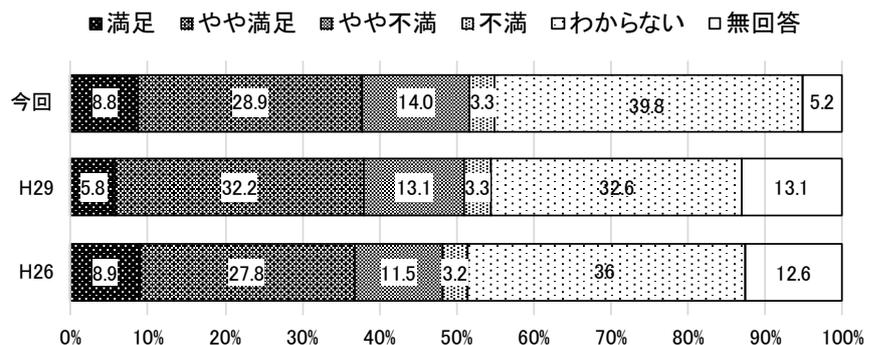
表は今回の結果



問6_3高齢者の就労や学習、趣味活動など社会参加の機会確保

	人数	%
満足	88	8.8
やや満足	288	28.9
やや不満	140	14.0
不満	33	3.3
わからない	397	39.8
無回答	52	5.2
全体	998	100.0

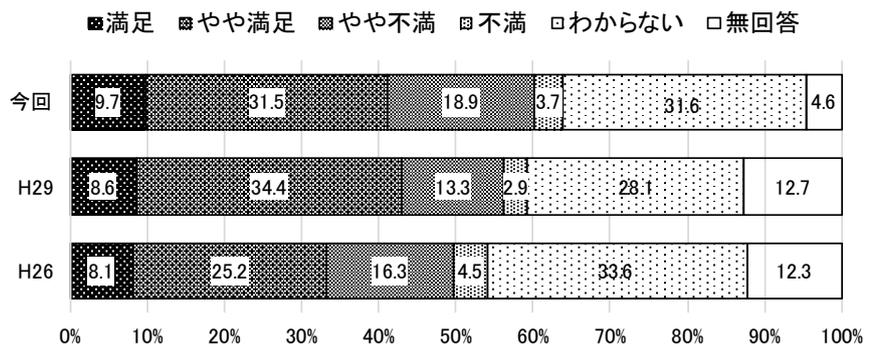
表は今回の結果



問6_4地域での助け合いによる高齢者が住みやすい環境

	人数	%
満足	97	9.7
やや満足	314	31.5
やや不満	189	18.9
不満	37	3.7
わからない	315	31.6
無回答	46	4.6
全体	998	100.0

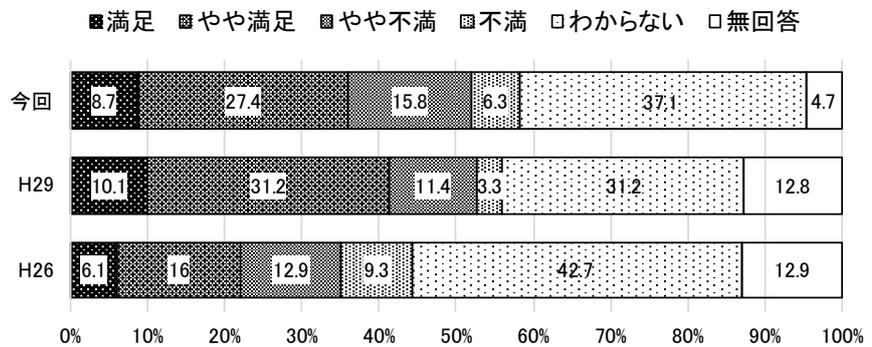
表は今回の結果



問6_5障がい者が住み慣れた地域で生活するための環境や支援策

	人数	%
満足	87	8.7
やや満足	273	27.4
やや不満	158	15.8
不満	63	6.3
わからない	370	37.1
無回答	47	4.7
全体	998	100.0

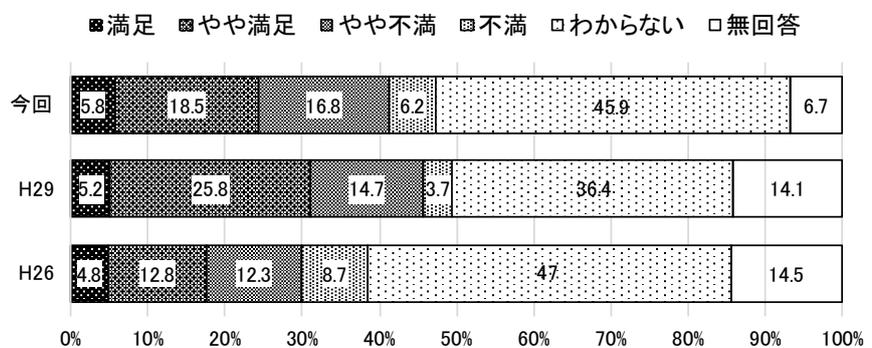
表は今回の結果



問6_6障がい者の就労や趣味活動など社会参加の機会確保

	人数	%
満足	58	5.8
やや満足	185	18.5
やや不満	168	16.8
不満	62	6.2
わからない	458	45.9
無回答	67	6.7
全体	998	100.0

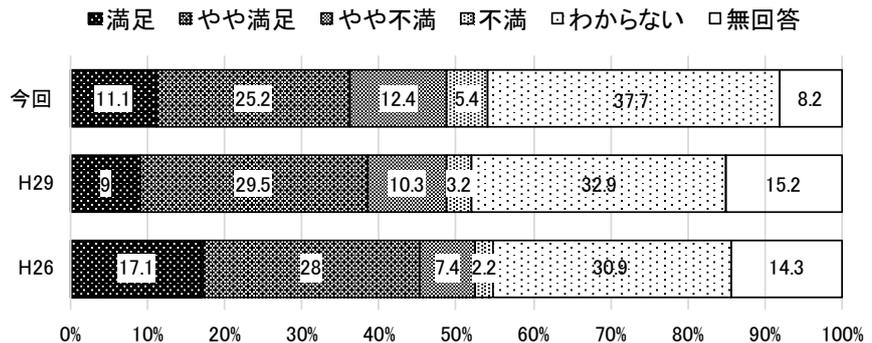
表は今回の結果



問6_7働きながら子育てをしやすい環境

	人数	%
満足	111	11.1
やや満足	251	25.2
やや不満	124	12.4
不満	54	5.4
わからない	376	37.7
無回答	82	8.2
全体	998	100.0

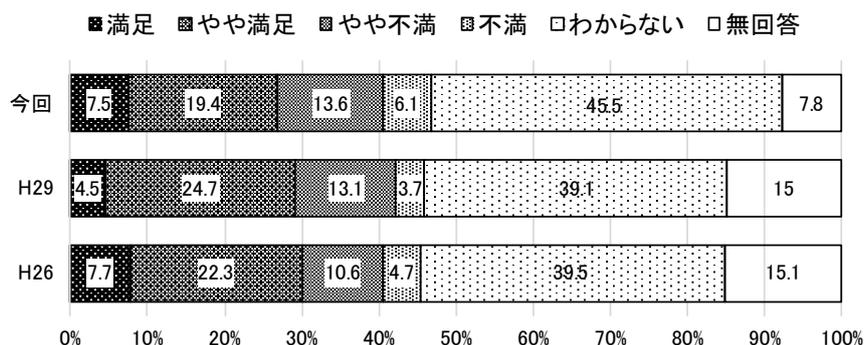
表は今回の結果



問6_8地域での助け合いによる安心して子育てをできる環境

	人数	%
満足	75	7.5
やや満足	194	19.4
やや不満	136	13.6
不満	61	6.1
わからない	454	45.5
無回答	78	7.8
全体	998	100.0

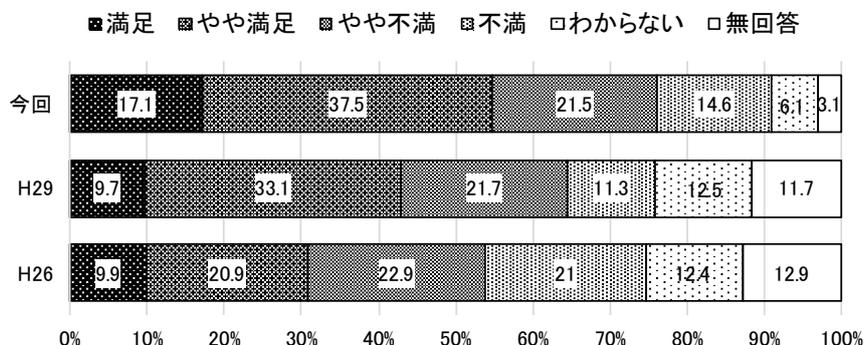
表は今回の結果



問6_9安心して医療を受けることができる環境

	人数	%
満足	171	17.1
やや満足	374	37.5
やや不満	215	21.5
不満	146	14.6
わからない	61	6.1
無回答	31	3.1
全体	998	100.0

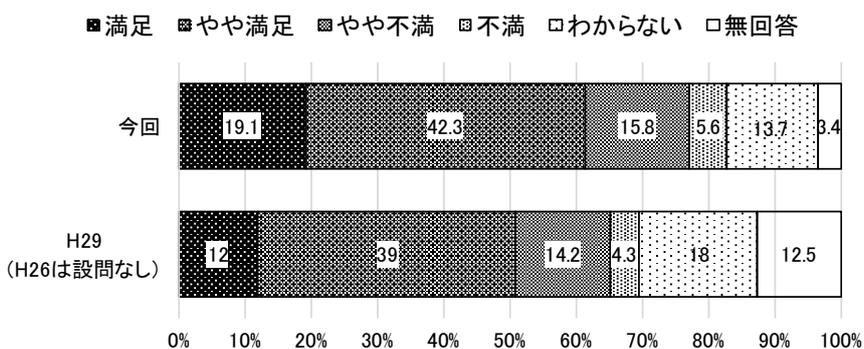
表は今回の結果



問6_10健康づくりに取り組みやすい環境

	人数	%
満足	191	19.1
やや満足	422	42.3
やや不満	158	15.8
不満	56	5.6
わからない	137	13.7
無回答	34	3.4
全体	998	100.0

表は今回の結果



(2) 教育・文化・スポーツについて

結果の要約

満足(「満足」+「やや満足」と)の回答が多い上位3項目は、以下の通りである

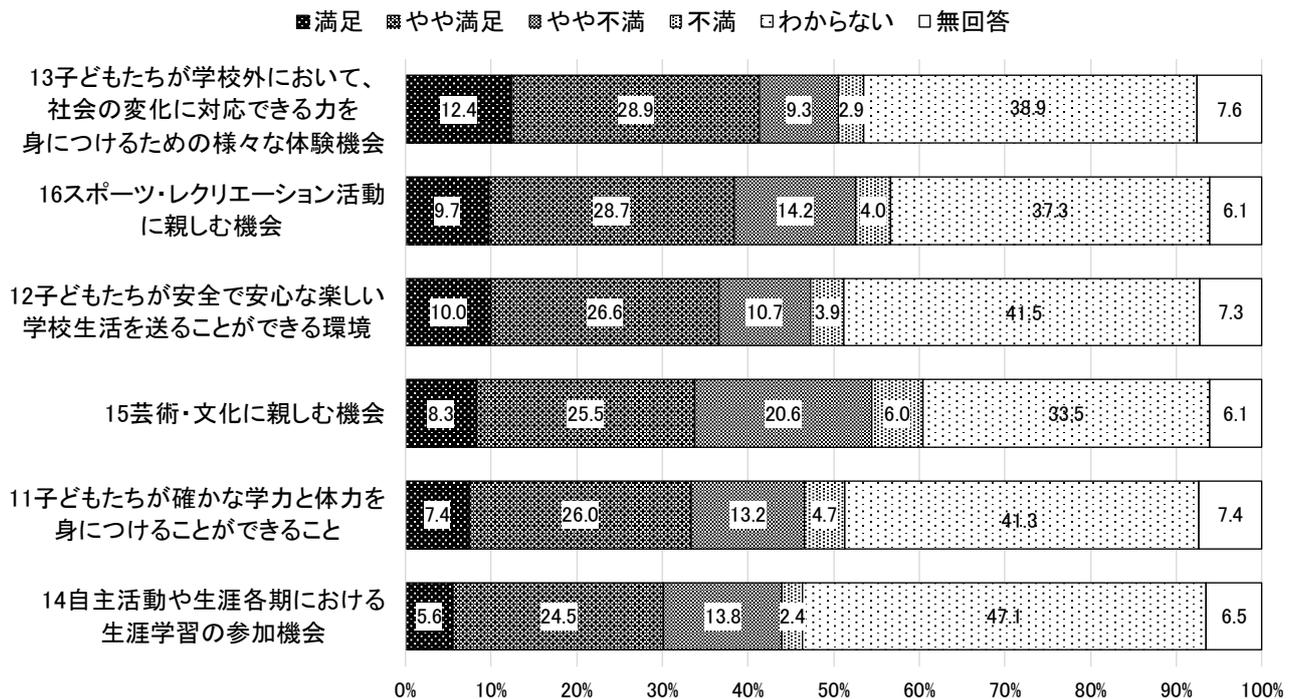
- 1位 子どもたちが学校外において、社会の変化に対応できる力を身につけるための様々な体験機会(41.3%、412名)
- 2位 スポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会(38.4%、383名)
- 3位 子どもたちが安全で安心な楽しい学校生活を送ることができる環境(36.6%、365名)

- 上位3項目とも35%以上が「満足」と回答(「満足」+「やや満足」)
- 最も満足度が低い項目は「14.自主活動や生涯各期における生涯学習の参加機会」であるが、「満足」と「やや満足」を足した数字は30.2%(301名)であり、上位との差は小さい
- 最も不満足(「不満」+「やや不満」と)回答した人が多いのは、「15.芸術・文化に親しむ機会」の26.7%(266名)
- 「わからない」が全体的に多い

下川町の教育・文化・スポーツについての満足度(問6 11~16)

「満足・やや満足」の合計値が高かった順

全体=998人(単位:%)



前回調査までとの比較

以下は、教育・文化・スポーツに関する今回調査の結果(表)と、前回までの調査との比較(グラフ)である

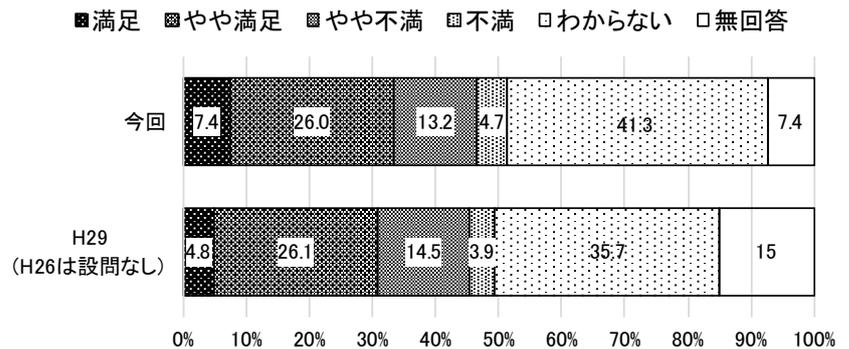
結果の要約

- 満足・不満足への分布には、細かい変動はあるものの、**大きな変化はない**
- 無回答は過去2回調査に比べて大きく減少。「わからない」も前回から増加傾向

問6_11子どもたちが確かな学力と体力を身につけることができること

	人数	%
満足	74	7.4
やや満足	259	26.0
やや不満	132	13.2
不満	47	4.7
わからない	412	41.3
無回答	74	7.4
全体	998	100.0

表は今回の結果

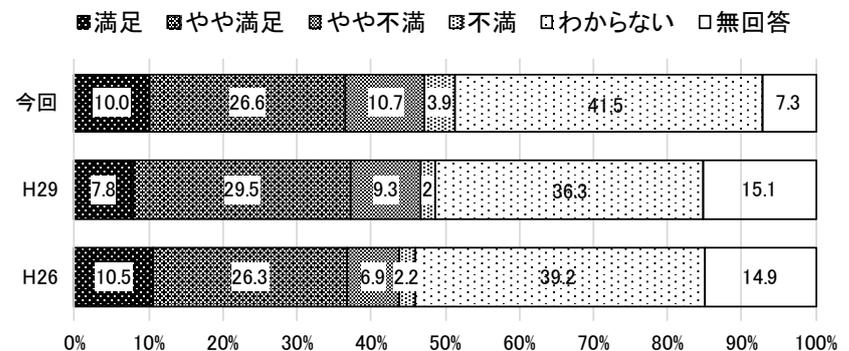


H29までの設問文は、「子どもたちが確かな学力と体力を身につけることができる」

問6_12子どもたちが安全で安心な楽しい学校生活を送ることができる環境

	人数	%
満足	100	10.0
やや満足	265	26.6
やや不満	107	10.7
不満	39	3.9
わからない	414	41.5
無回答	73	7.3
全体	998	100.0

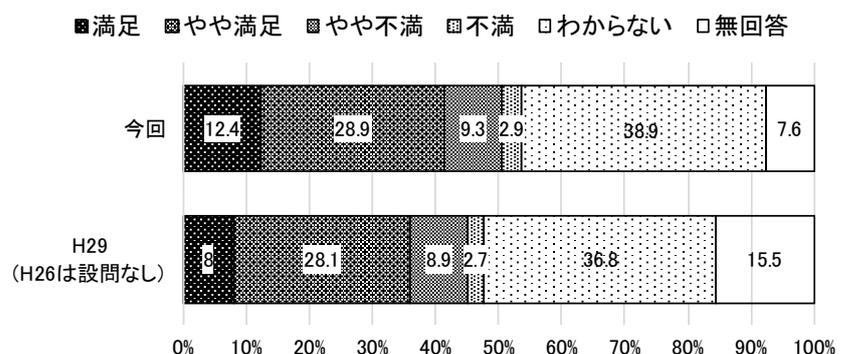
表は今回の結果



問6_13子どもたちが学校外において、社会の変化に対応できる力を身につけるための様々な体験機会

	人数	%
満足	124	12.4
やや満足	288	28.9
やや不満	93	9.3
不満	29	2.9
わからない	388	38.9
無回答	76	7.6
全体	998	100.0

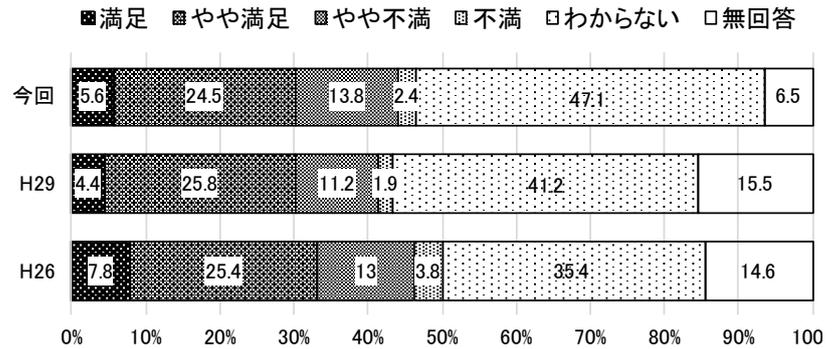
表は今回の結果



問6_14自主活動や生涯各期における生涯学習の参加機会

	人数	%
満足	56	5.6
やや満足	245	24.5
やや不満	138	13.8
不満	24	2.4
わからない	470	47.1
無回答	65	6.5
全体	998	100.0

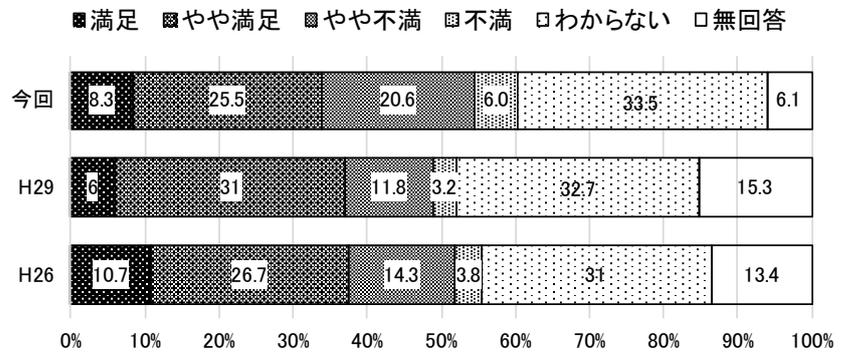
表は今回の結果



問6_15芸術・文化に親しむ機会

	人数	%
満足	83	8.3
やや満足	254	25.5
やや不満	206	20.6
不満	60	6.0
わからない	334	33.5
無回答	61	6.1
全体	998	100.0

表は今回の結果

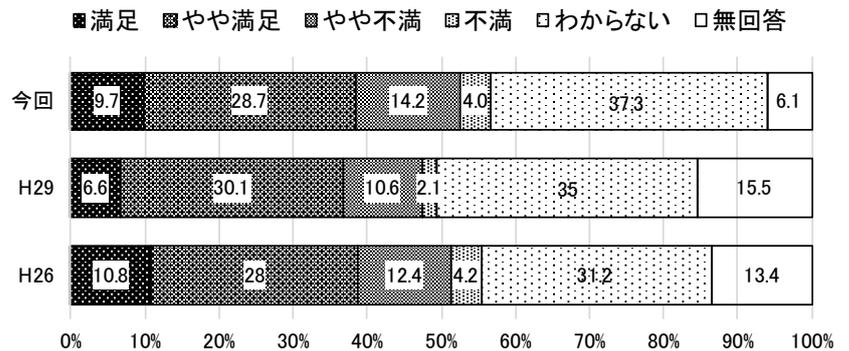


H29までの設問文は、「芸術・文化に親しむことができる機会」

問6_16スポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会

	人数	%
満足	97	9.7
やや満足	286	28.7
やや不満	142	14.2
不満	40	4.0
わからない	372	37.3
無回答	61	6.1
全体	998	100.0

表は今回の結果



H29までの設問文は、「スポーツ・レクリエーション活動に親しむことができる機会」

(3) 生活環境・安全安心について

結果の要約

満足(「満足」+「やや満足」と)の回答が多い上位3項目は以下の通りである

- 1位 安全な水道水の安定的供給(76.0%、758名)
- 2位 公共下水道や合併処理浄化槽などによる良好な生活環境の確保(72.6%、725名)
- 3位 下川町によるごみの分別収集の徹底(70.0%、699名)

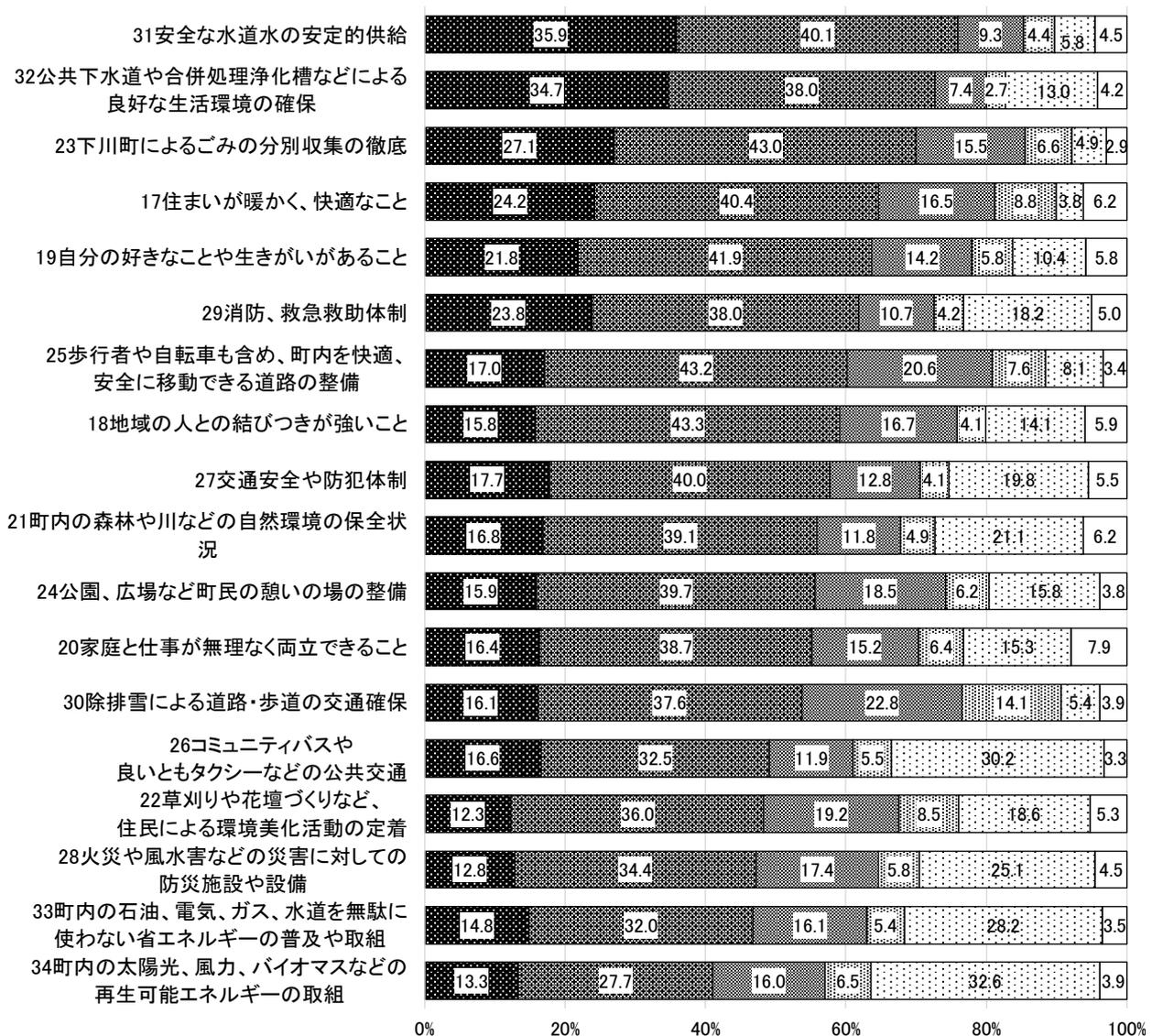
- 上位3項目とも70%以上が「満足(「満足」+「やや満足」)」と回答しているなど、**全体的に満足度が高い**
- 最も満足が少ない項目でも、41.0%(409名)が満足と回答(「満足」+「やや満足」)
- 最も不満足(「不満」+「やや不満」)が多いのは「30. 除排雪による道路・歩道の交通確保」の37.0%(369名)

下川町の生活環境・安全安心についての満足度(問6 17~34)

「満足・やや満足」の合計値が高かった順

全体=998人(単位:%)

■満足 ■やや満足 ■やや不満 ■不満 □わからない □無回答



前回調査までとの比較

以下は、生活環境・安全安心に関する今回調査の結果(表)と、前回までの調査との比較(グラフ)である

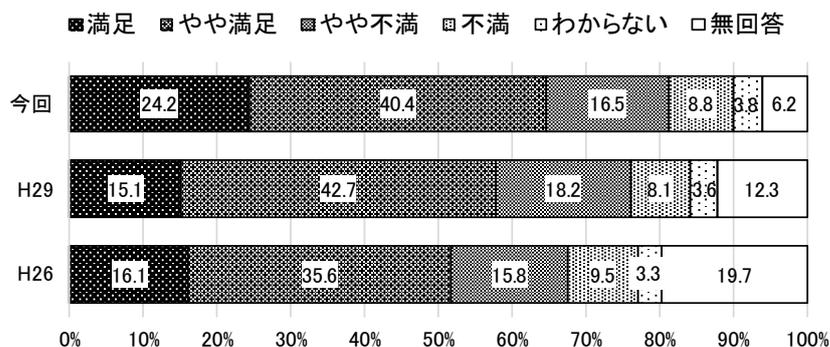
結果の要約

- 前回と比べて、項目によるものの、全体的に満足(「満足」+「やや満足」)は増加傾向
- 「無回答」は全体として大きく減少

問6_17住まいが暖かく、快適なこと

	人数	%
満足	242	24.2
やや満足	403	40.4
やや不満	165	16.5
不満	88	8.8
わからない	38	3.8
無回答	62	6.2
全体	998	100.0

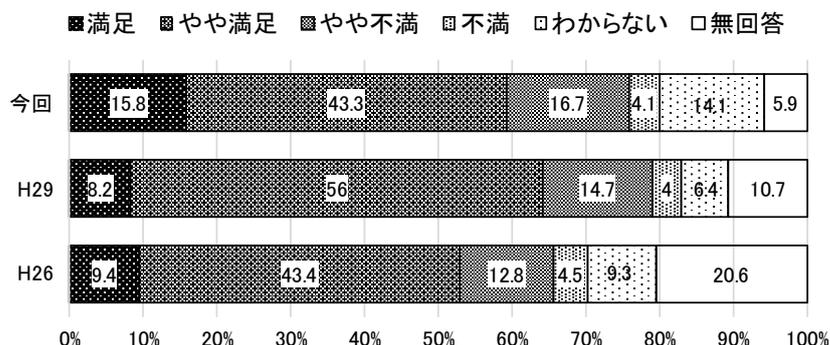
表は今回の結果



問6_18地域の人との結びつきが強いこと

	人数	%
満足	158	15.8
やや満足	432	43.3
やや不満	167	16.7
不満	41	4.1
わからない	141	14.1
無回答	59	5.9
全体	998	100.0

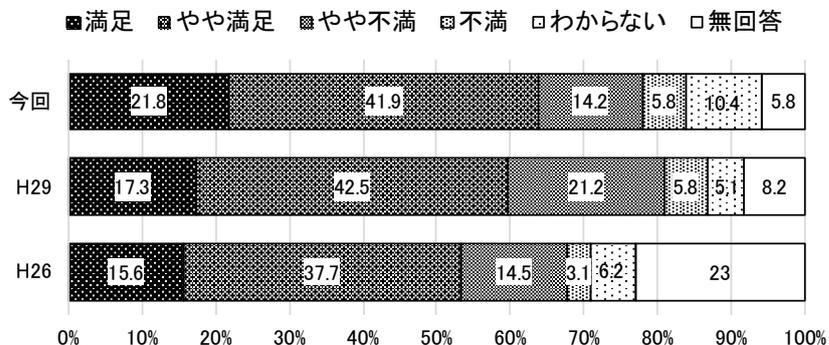
表は今回の結果



問6_19自分の好きなことや生きがいがあること

	人数	%
満足	218	21.8
やや満足	418	41.9
やや不満	142	14.2
不満	58	5.8
わからない	104	10.4
無回答	58	5.8
全体	998	100.0

表は今回の結果

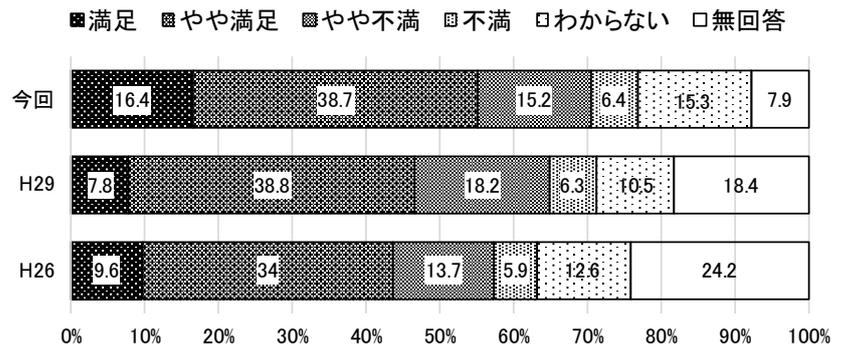


H29までの設問文は、「自分の好きなことや、生きがいがある」

問6_20家庭と仕事が無理なく両立できること

	人数	%
満足	164	16.4
やや満足	386	38.7
やや不満	152	15.2
不満	64	6.4
わからない	153	15.3
無回答	79	7.9
全体	998	100.0

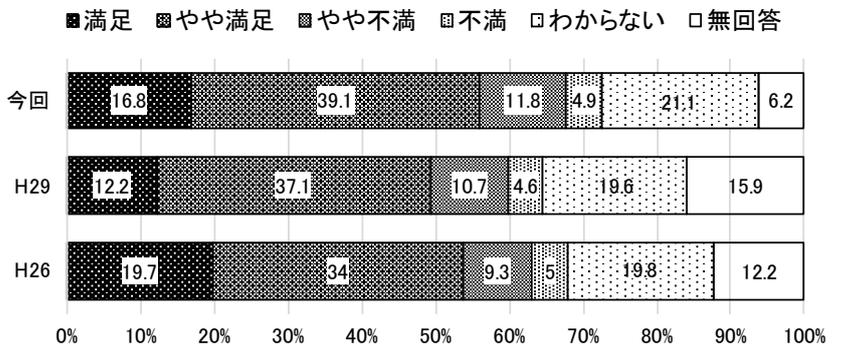
表は今回の結果



問6_21町内の森林や川などの自然環境の保全状況

	人数	%
満足	168	16.8
やや満足	390	39.1
やや不満	118	11.8
不満	49	4.9
わからない	211	21.1
無回答	62	6.2
全体	998	100.0

表は今回の結果

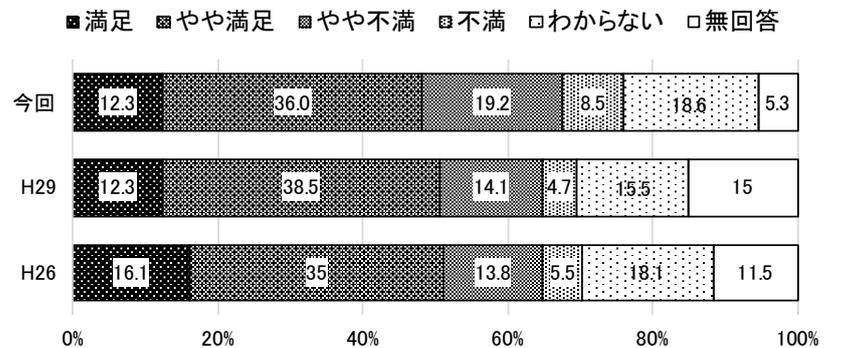


H29までの設問文は、「森林や川などの自然環境の保全」

問6_22草刈りや花壇づくりなど、住民による環境美化活動の定着

	人数	%
満足	123	12.3
やや満足	359	36.0
やや不満	192	19.2
不満	85	8.5
わからない	186	18.6
無回答	53	5.3
全体	998	100.0

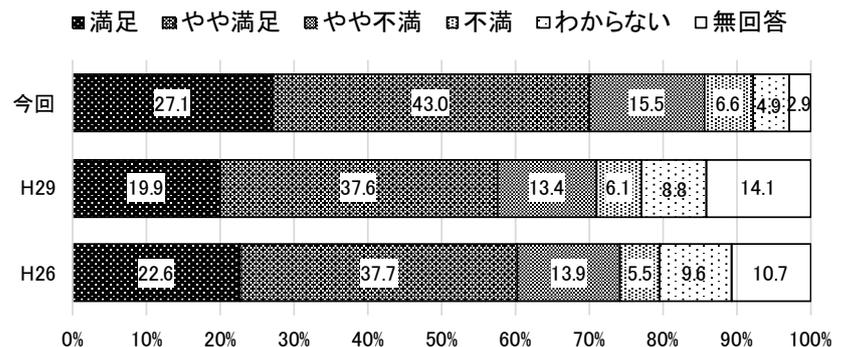
表は今回の結果



問6_23下川町によるごみの分別収集の徹底

	人数	%
満足	270	27.1
やや満足	429	43.0
やや不満	155	15.5
不満	66	6.6
わからない	49	4.9
無回答	29	2.9
全体	998	100.0

表は今回の結果

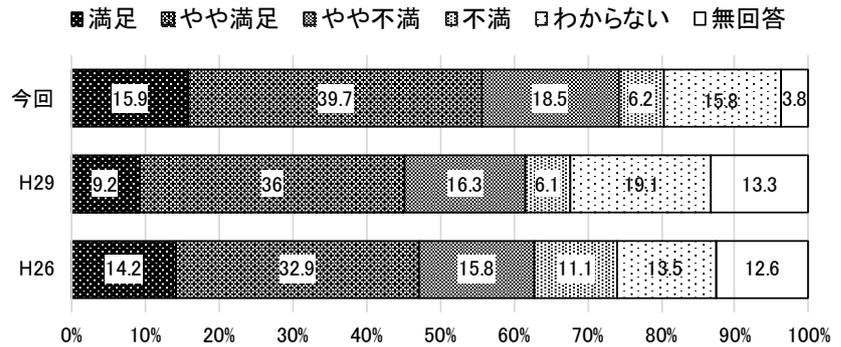


H29までの設問文は、「ごみの分別収集の徹底」

問6_24公園、広場など町民の憩いの場の整備

	人数	%
満足	159	15.9
やや満足	396	39.7
やや不満	185	18.5
不満	62	6.2
わからない	158	15.8
無回答	38	3.8
全体	998	100.0

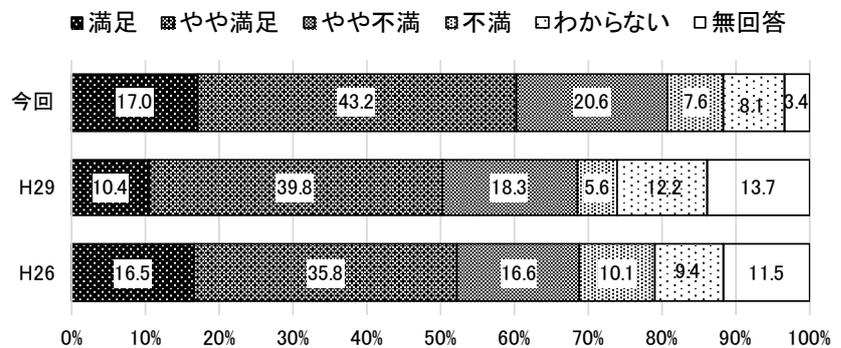
表は今回の結果



問6_25歩行者や自転車も含め、町内を快適、安全に移動できる道路の整備

	人数	%
満足	170	17.0
やや満足	431	43.2
やや不満	206	20.6
不満	76	7.6
わからない	81	8.1
無回答	34	3.4
全体	998	100.0

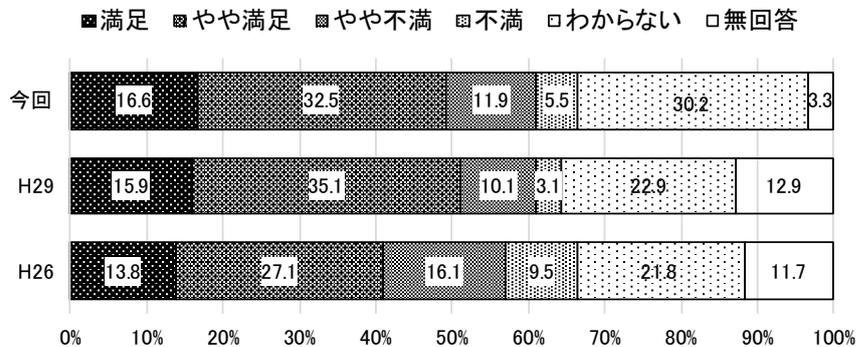
表は今回の結果



問6_26コミュニティバスや良いともタクシーなどの公共交通

	人数	%
満足	166	16.6
やや満足	324	32.5
やや不満	119	11.9
不満	55	5.5
わからない	301	30.2
無回答	33	3.3
全体	998	100.0

表は今回の結果

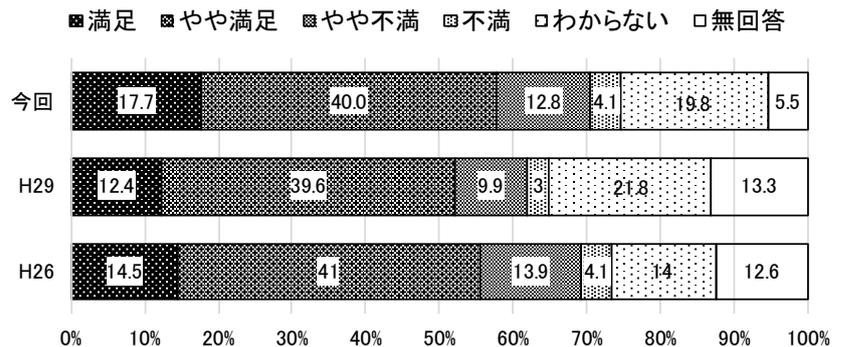


H26の設問文は、「町営バスなど公共交通が整っている」

問6_27交通安全や防犯体制

	人数	%
満足	177	17.7
やや満足	399	40.0
やや不満	128	12.8
不満	41	4.1
わからない	198	19.8
無回答	55	5.5
全体	998	100.0

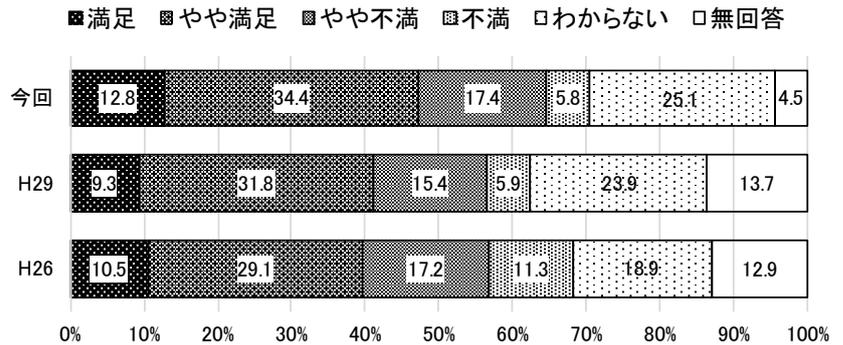
表は今回の結果



問6_28火災や風水害などの災害に対する防災施設や設備

	人数	%
満足	128	12.8
やや満足	343	34.4
やや不満	174	17.4
不満	58	5.8
わからない	250	25.1
無回答	45	4.5
全体	998	100.0

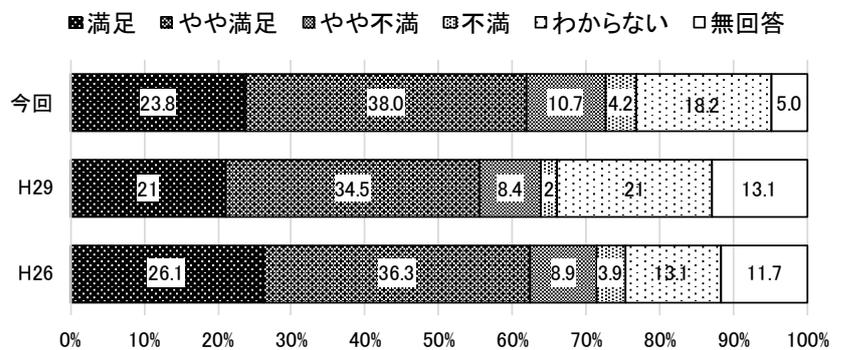
表は今回の結果



問6_29消防、救急救助体制

	人数	%
満足	238	23.8
やや満足	379	38.0
やや不満	107	10.7
不満	42	4.2
わからない	182	18.2
無回答	50	5.0
全体	998	100.0

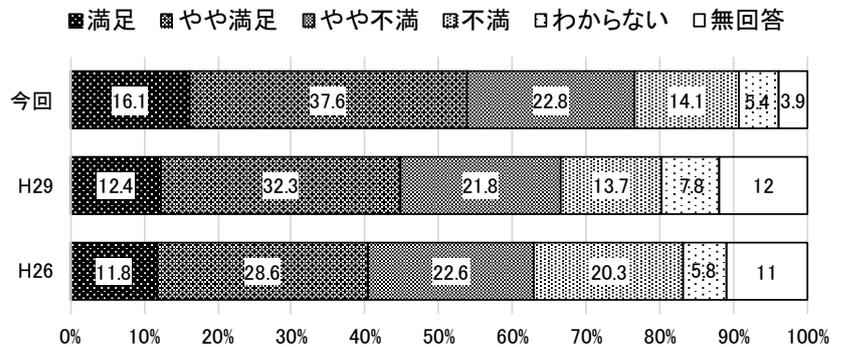
表は今回の結果



問6_30除排雪による道路・歩道の交通確保

	人数	%
満足	161	16.1
やや満足	375	37.6
やや不満	228	22.8
不満	141	14.1
わからない	54	5.4
無回答	39	3.9
全体	998	100.0

表は今回の結果

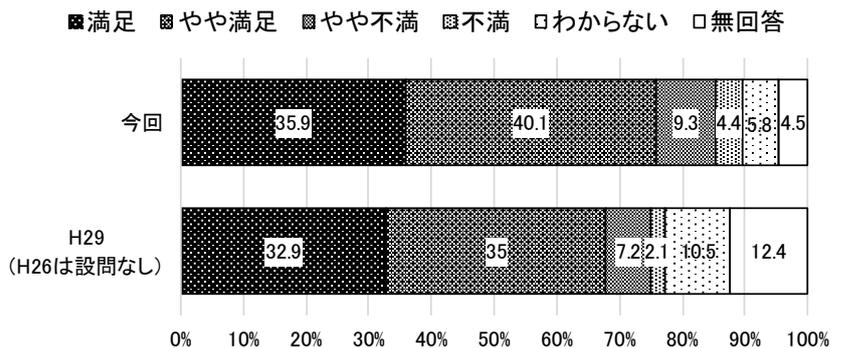


H26の設問文は、「除排雪体制が整っている」

問6_31安全な水道水の安定的供給

	人数	%
満足	358	35.9
やや満足	400	40.1
やや不満	93	9.3
不満	44	4.4
わからない	58	5.8
無回答	45	4.5
全体	998	100.0

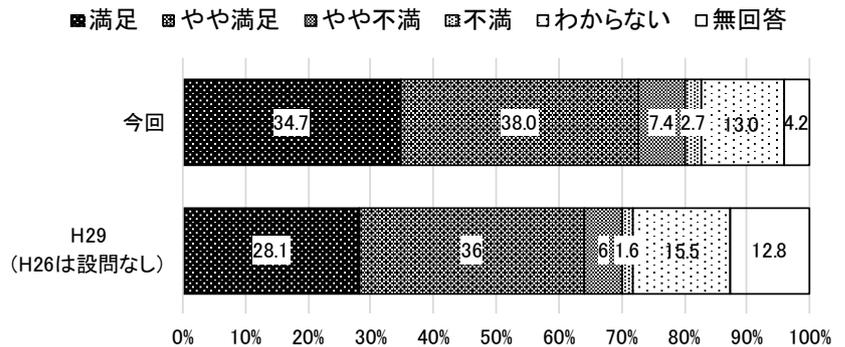
表は今回の結果



問6_32公共下水道や合併処理浄化槽などによる良好な生活環境の確保

	人数	%
満足	346	34.7
やや満足	379	38.0
やや不満	74	7.4
不満	27	2.7
わからない	130	13.0
無回答	42	4.2
全体	998	100.0

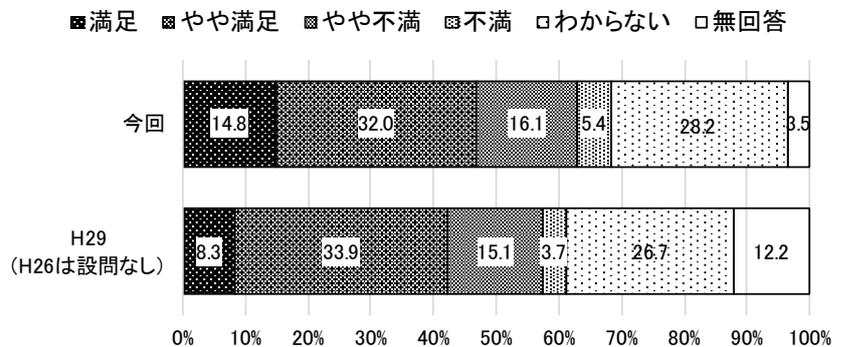
表は今回の結果



問6_33町内の石油、電気、ガス、水道を無駄に使わない省エネルギーの普及や取組

	人数	%
満足	148	14.8
やや満足	319	32.0
やや不満	161	16.1
不満	54	5.4
わからない	281	28.2
無回答	35	3.5
全体	998	100.0

表は今回の結果

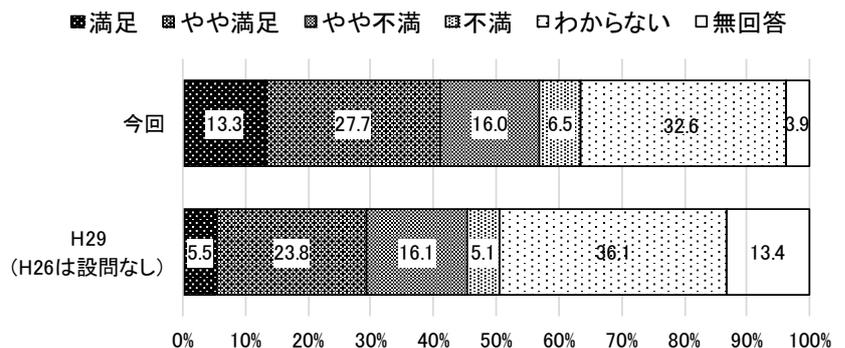


H29の設問文は、「石油、電気、ガス、水道を無駄に使わない省エネルギーの普及や取組」

問6_34町内の太陽光、風力、バイオマスなどの再生可能エネルギーの取組

	人数	%
満足	133	13.3
やや満足	276	27.7
やや不満	160	16.0
不満	65	6.5
わからない	325	32.6
無回答	39	3.9
全体	998	100.0

表は今回の結果



H29の設問文は、「太陽光、風力、バイオマスなどの再生可能エネルギーの取組」

(4) 行政情報の提供について

以下は、行政情報の提供に関する今回調査の結果(表)と、前回までの調査との比較(グラフ)である

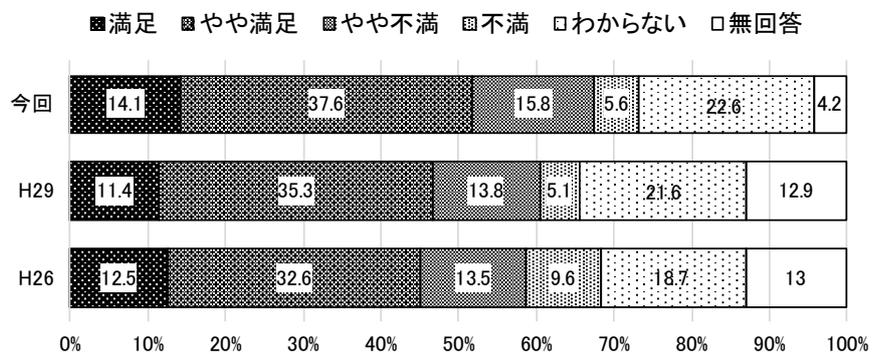
結果の要約

- 「下川町が行う施策・事業の内容に関する情報提供」に対して、「満足」との回答は 51.7% (516 名、「満足」+「やや満足」)
- 「下川町への意見・提言や町政への住民参加の機会」に対して、「満足」との回答は 40.8% (407 名、「満足」+「やや満足」)
- 前回、前々回調査と比較すると、満足(「満足」+「やや満足」)に、若干の増加傾向が見られる
- 「無回答」は大きく減少

問6_35下川町が行う施策・事業の内容に関する情報提供

	人数	%
満足	141	14.1
やや満足	375	37.6
やや不満	158	15.8
不満	56	5.6
わからない	226	22.6
無回答	42	4.2
全体	998	100.0

表は今回の結果

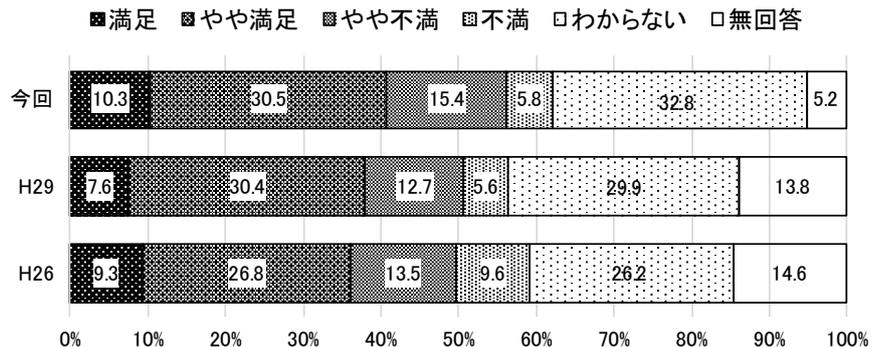


H29までの設問文は、「町が行う施策・事業の内容に関する情報提供」

問6_36下川町への意見・提言や町政への住民参加の機会

	人数	%
満足	103	10.3
やや満足	304	30.5
やや不満	154	15.4
不満	58	5.8
わからない	327	32.8
無回答	52	5.2
全体	998	100.0

表は今回の結果



H29までの設問文は、「町への意見・提言や町政への住民参加の機会」

(5) まちづくりに対する満足度と関心度

結果の要約

下川町のまちづくりに対する満足度と関心度を10点満点(0点から10点)で評価した回答の平均値は以下の通りである。

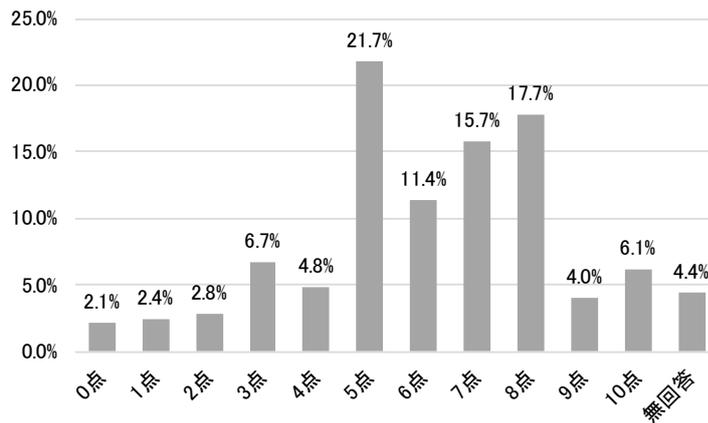
- まちづくりに対する満足度:6.00
- まちづくりに対する関心度:6.17
- 両設問とも、前回調査と比べて、若干高い値となっている
- 得点の分布では、5点と回答する回答者が多い

設問	今回	前回 (H29)	前回との差
37下川町のまちづくりに対する 満足度を点数で表すと何点ですか (満足している10点、満足していない0点)	6.00	5.88	0.12
38下川町のまちづくりに対する関心度を点数で表すと何点ですか (関心がある10点、関心がない0点)	6.17	5.94	0.23

以下は、下川町のまちづくりに対する満足度と関心度の結果の度数分布表である。

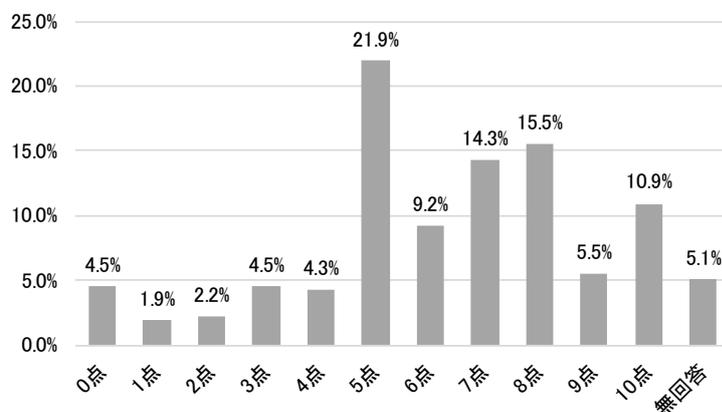
問6_37下川町のまちづくりに対する 満足度を点数で表すと何点ですか (全体=998人)

	人数	%
0点	21	2.1%
1点	24	2.4%
2点	28	2.8%
3点	67	6.7%
4点	48	4.8%
5点	217	21.7%
6点	114	11.4%
7点	157	15.7%
8点	177	17.7%
9点	40	4.0%
10点	61	6.1%
無回答	44	4.4%
全体	998	100.0%



問6_38下川町のまちづくりに対する関心度を点数で表すと何点ですか (全体=998人)

	人数	%
0点	45	4.5%
1点	19	1.9%
2点	22	2.2%
3点	45	4.5%
4点	43	4.3%
5点	219	21.9%
6点	92	9.2%
7点	143	14.3%
8点	155	15.5%
9点	55	5.5%
10点	109	10.9%
無回答	51	5.1%
全体	998	100.0%



(6) 施策の満足度の平均値

施策(問6)の満足度に関する5段階評価の回答選択肢に対して、以下の値を付した上で、平均値を算出した。

満足	やや満足	わからない	やや不満	不満
5	4	3	2	1

結果の要約

満足度が高い項目

- 全体で最も満足度が高かったのは、「32.公共下水道や合併処理浄化槽などによる良好な生活環境の確保」の 3.99
- 2番目は 0.01 ポイント差で「31.安全な水道水の安定的供給」の 3.98
- 3番目が「1.自分や家族が健康であること」の 3.88

満足度の平均値 上位5項目

1	公共下水道や合併処理浄化槽などによる良好な生活環境の確保	3.99
2	安全な水道水の安定的供給	3.98
3	自分や家族が健康であること	3.88
4	下川町によるごみの分別収集の徹底	3.70
5	消防、救急救助体制	3.70

満足度が低い項目

- 最も満足度が低かったのは、「6.障がい者の就労や趣味活動など社会参加の機会確保」の 3.01
- 2番目に低かったのは「8.地域での助け合いによる安心して子育てをできる環境」の 3.09
- 3番目に低かったのは、「15.芸術・文化に親しむ機会」の 3.10

満足度の平均値 下位5項目

1	障がい者の就労や趣味活動など社会参加の機会確保	3.01
2	地域での助け合いによる安心して子育てをできる環境	3.09
3	芸術・文化に親しむ機会	3.10
4	障がい者が住み慣れた地域で生活するための環境や支援策	3.17
5	自主活動や生涯各期における生涯学習の参加機会	3.18

前回の結果との差

- すべての項目で今回は前回の結果を上回っていた。今回調査では、「満足」が増加傾向であること、「わからない」が増加した項目が多いことが影響している
- 前回との差が最も大きかったのは、「23.下川町によるごみの分別収集の徹底」であり、前回の 3.09 から今回は 3.70 と、0.61 ポイント高い結果となった

前回との差上位 5項目

	今回	前回	前回との差
1 下川町によるごみの分別収集の徹底	3.70	3.09	0.61
2 町内の森林や川などの自然環境の保全状況	3.54	2.94	0.60
3 子どもたちが学校外において、社会の変化に対応できる力を身につけるための様々な体験機会	3.42	2.83	0.59
4 町内の太陽光、風力、バイオマスなどの再生可能エネルギーの取組	3.26	2.68	0.58
5 公園、広場など町民の憩いの場の整備	3.42	2.86	0.56

総括表

分野	項目(設問)	今回	前回(H29)	前回との差
福祉・医療	1 自分や家族が健康であること	3.88	-	-
	2 高齢者福祉サービスの提供	3.37	3.00	0.37
	3 高齢者の就労や学習、趣味活動など社会参加の機会確保	3.27	2.85	0.42
	4 地域での助け合いによる高齢者が住みやすい環境	3.26	2.94	0.32
	5 障がい者が住み慣れた地域で生活するための環境や支援策	3.17	2.95	0.22
	6 障がい者の就労や趣味活動など社会参加の機会確保	3.01	2.72	0.29
	7 働きながら子育てをしやすい環境	3.26	2.85	0.41
	8 地域での助け合いによる安心して子育てをできる環境	3.09	2.68	0.41
	9 安心して医療を受けることができる環境	3.22	2.73	0.49
	10 健康づくりに取り組みやすい環境	3.55	3.03	0.52
教育 ポ ー 文 化 ・ ス	11 子どもたちが確かな学力と体力を身につけることができること	3.20	2.69	0.51
	12 子どもたちが安全で安心な楽しい学校生活を送ることができる環境	3.30	2.87	0.43
	13 子どもたちが学校外において、社会の変化に対応できる力を身につけるための様々な体験機会	3.42	2.83	0.59
	14 自主活動や生涯各期における生涯学習の参加機会	3.18	2.73	0.45
	15 芸術・文化に親しむ機会	3.10	2.79	0.31
	16 スポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会	3.28	2.82	0.46
生活環境・安全安心	17 住まいが暖かく、快適なこと	3.58	-	-
	18 地域の人との結びつきが強いこと	3.53	-	-
	19 自分の好きなことや生きがいがあること	3.63	-	-
	20 家庭と仕事が無理なく両立できること	3.47	-	-
	21 町内の森林や川などの自然環境の保全状況	3.54	2.94	0.60
	22 草刈りや花壇づくりなど、住民による環境美化活動の定着	3.26	2.95	0.31
	23 下川町によるごみの分別収集の徹底	3.70	3.09	0.61
	24 公園、広場など町民の憩いの場の整備	3.42	2.86	0.56
	25 歩行者や自転車も含め、町内を快適、安全に移動できる道路の整備	3.43	2.90	0.53
	26 コミュニティバスや良いともタクシーなどの公共交通	3.44	3.12	0.32
	27 交通安全や防犯体制	3.58	3.09	0.49
	28 火災や風水害などの災害に対する防災施設や設備	3.32	2.82	0.50
	29 消防、救急救助体制	3.70	3.25	0.45
	30 除排雪による道路・歩道の交通確保	3.20	2.72	0.48
31 安全な水道水の安定的供給	3.98	3.52	0.46	
32 公共下水道や合併処理浄化槽などによる良好な生活環境の確保	3.99	3.45	0.54	
33 町内の石油、電気、ガス、水道を無駄に使わない省エネルギーの普及や取組	3.36	2.91	0.45	
34 町内の太陽光、風力、バイオマスなどの再生可能エネルギーの取組	3.26	2.68	0.58	
行政情報の提供	35 下川町が行う施策・事業の内容に関する情報提供	3.40	2.95	0.45
	36 下川町への意見・提言や町政への住民参加の機会	3.25	2.80	0.45

2. 定住・生活環境について

(1) 住み心地

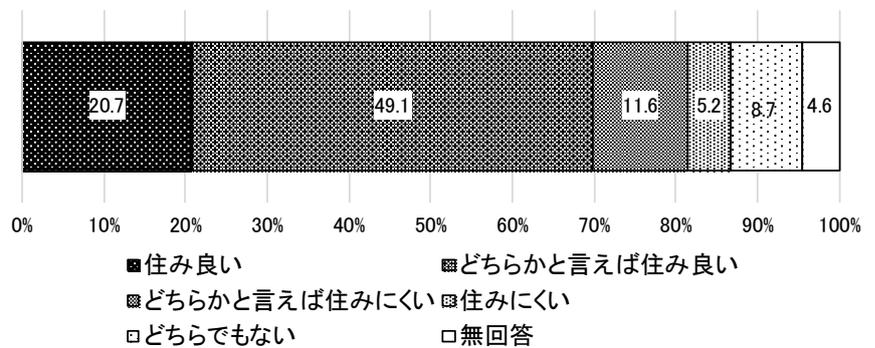
【問7】あなたは、現在の下川町は住み良いところだと思いますか

結果の要約

- 69.8% (697名) とほぼ7割が「住み良い(「住み良い」+「どちらかといえば住み良い」)と回答
- 一方、「住みにくい」との回答は、「どちらかといえば住みにくい」と合わせて16.8% (168名)
- その理由について、「住み良い」と回答した人には、人間関係や住み慣れていること、町がコンパクトであること、災害が少ないこと、子育てしやすいことなどをあげる回答があった(自由記述)
- 理由について、「住みにくい」と回答した人には、買い物や医療環境、交通、除排雪、仕事などをあげる回答があった(自由記述)

問7 現在の下川町は住み良いところだと思いますか (全体=998人)

	度数	%
住み良い	207	20.7
どちらかと言 えば住み良い	490	49.1
どちらかと言 えば住みにく い	116	11.6
住みにくい	52	5.2
どちらでもな い	87	8.7
無回答	46	4.6
全体	998	100.0

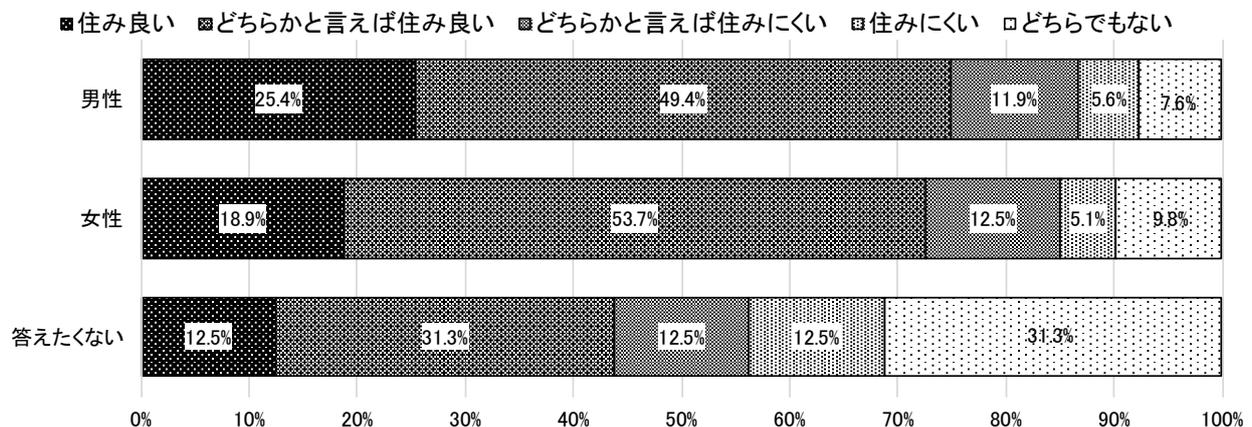


性別・年代別集計

結果の要約

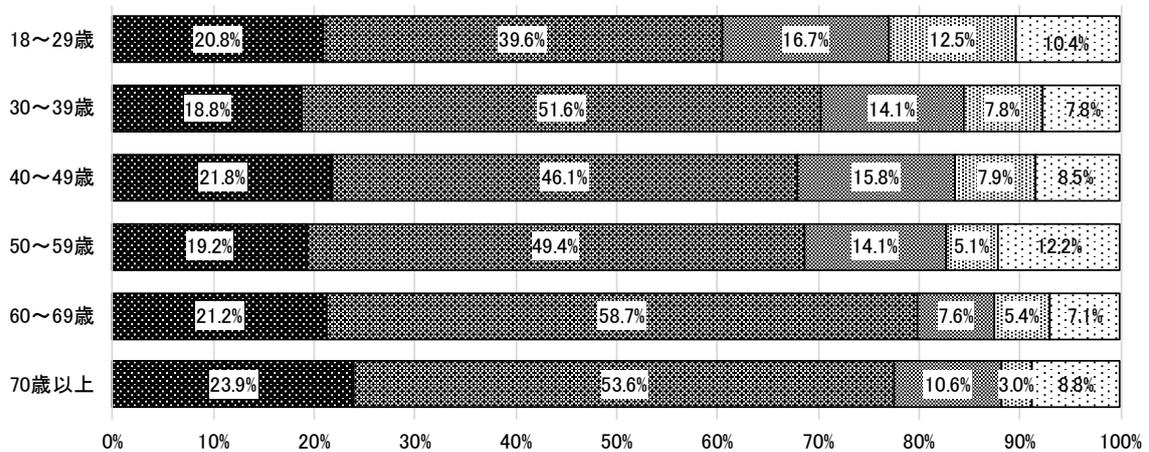
- 性別では、「住み良い」と回答する回答者が男性の方が女性よりも6.5ポイント高いが、「どちらかといえば住み良い」まで含めると、男女差はほとんどない。
- 年代では若い層に「住みにくい」という回答が他の年代と比べて多く、年配になるほど「住み良い」との回答が多くなる傾向が見られる

<性別集計> 下川町は住み良いところだと思いますか



		住み良い	どちらかと言え ば住み良い	どちらかと言え ば住みにくい	住みにくい	どちらでも ない	合計
男性	人数	113	220	53	25	34	445
	%	25.4%	49.4%	11.9%	5.6%	7.6%	100.0%
女性	人数	92	262	61	25	48	488
	%	18.9%	53.7%	12.5%	5.1%	9.8%	100.0%
答えたく ない	人数	2	5	2	2	5	16
	%	12.5%	31.3%	12.5%	12.5%	31.3%	100.0%
全体	人数	207	487	116	52	87	949
	%	21.8%	51.3%	12.2%	5.5%	9.2%	100.0%

<年代別集計> 現在の下川町は住み良いところだと思いますか



■住み良い ■どちらかと言えれば住み良い ■どちらかと言えれば住みにくい ■住みにくい □どちらでもない

		住み良い	どちらかと言え ば住み良い	どちらかと言え ば住みにくい	住みにくい	どちらでも ない	合計
18～29歳	人数	10	19	8	6	5	48
	%	20.8%	39.6%	16.7%	12.5%	10.4%	100.0%
30～39歳	人数	12	33	9	5	5	64
	%	18.8%	51.6%	14.1%	7.8%	7.8%	100.0%
40～49歳	人数	36	76	26	13	14	165
	%	21.8%	46.1%	15.8%	7.9%	8.5%	100.0%
50～59歳	人数	30	77	22	8	19	156
	%	19.2%	49.4%	14.1%	5.1%	12.2%	100.0%
60～69歳	人数	39	108	14	10	13	184
	%	21.2%	58.7%	7.6%	5.4%	7.1%	100.0%
70歳以上	人数	79	177	35	10	29	330
	%	23.9%	53.6%	10.6%	3.0%	8.8%	100.0%
全体	人数	206	490	114	52	85	947
	%	21.8%	51.7%	12.0%	5.5%	9.0%	100.0%

(2) 今後の居留意向

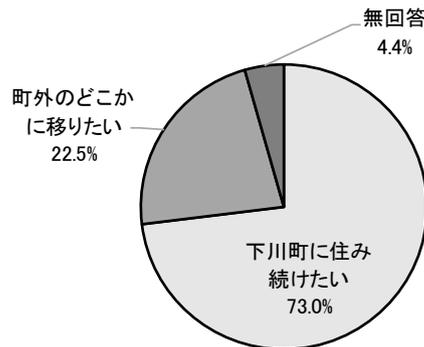
【問8】あなたは、これからも下川町住み続けたいと思いますか。

結果の要約

- 73.0%が「下川町に住み続けたい」と回答
- 「町外のどこかに移りたい」と回答したのは 22.5%

問8 これからも下川町に住み続けたいと思いますか（全体=998人）

	人数	%
下川町に住み続けたい	729	73.0
町外のどこかに移りたい	225	22.5
無回答	44	4.4
合計	998	100.0

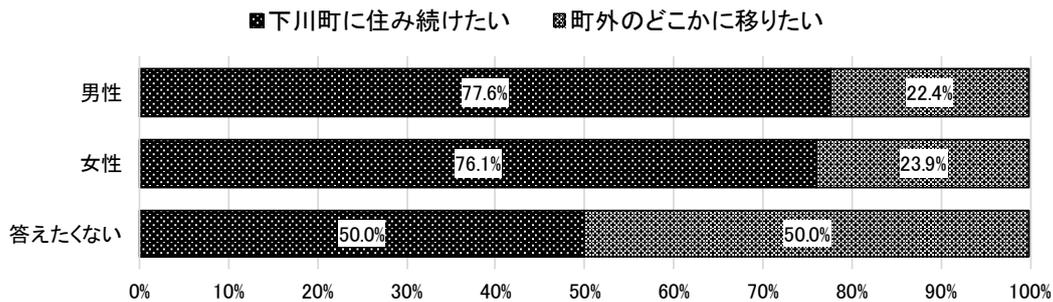


性別・年代別集計

結果の要約

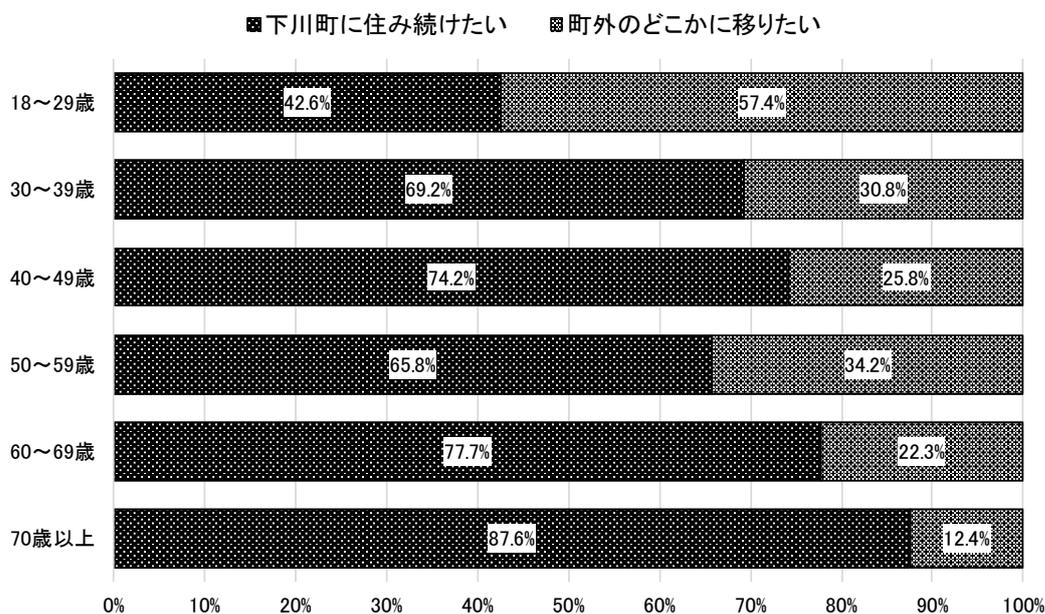
- 性別による差はほとんどない
- 年代別では、18歳から29歳では、「町外のどこかに移りたい」が57.4%と半数を超える
- 70歳以上では、「下川町に住み続けたい」が87.6%と大多数を占める

<性別集計> これからも下川町に住み続けたいと思いますか



	下川町に住み続けたい	町外のどこかに移りたい	合計
男性	人数 342	99	441
	% 77.6%	22.4%	100.0%
女性	人数 376	118	494
	% 76.1%	23.9%	100.0%
答えたくない	人数 8	8	16
	% 50.0%	50.0%	100.0%
全体	人数 726	225	951
	% 76.3%	23.7%	100.0%

<年代別集計>これからも下川町に住み続けたいと思いますか



年代		下川町に住み続けたい 町外のどこかに移りたい		合計
		人数	人数	
18～29歳	人数	20	27	47
	%	42.6%	57.4%	100.0%
30～39歳	人数	45	20	65
	%	69.2%	30.8%	100.0%
40～49歳	人数	121	42	163
	%	74.2%	25.8%	100.0%
50～59歳	人数	100	52	152
	%	65.8%	34.2%	100.0%
60～69歳	人数	143	41	184
	%	77.7%	22.3%	100.0%
70歳以上	人数	296	42	338
	%	87.6%	12.4%	100.0%
全体	人数	725	224	949
	%	76.4%	23.6%	100.0%

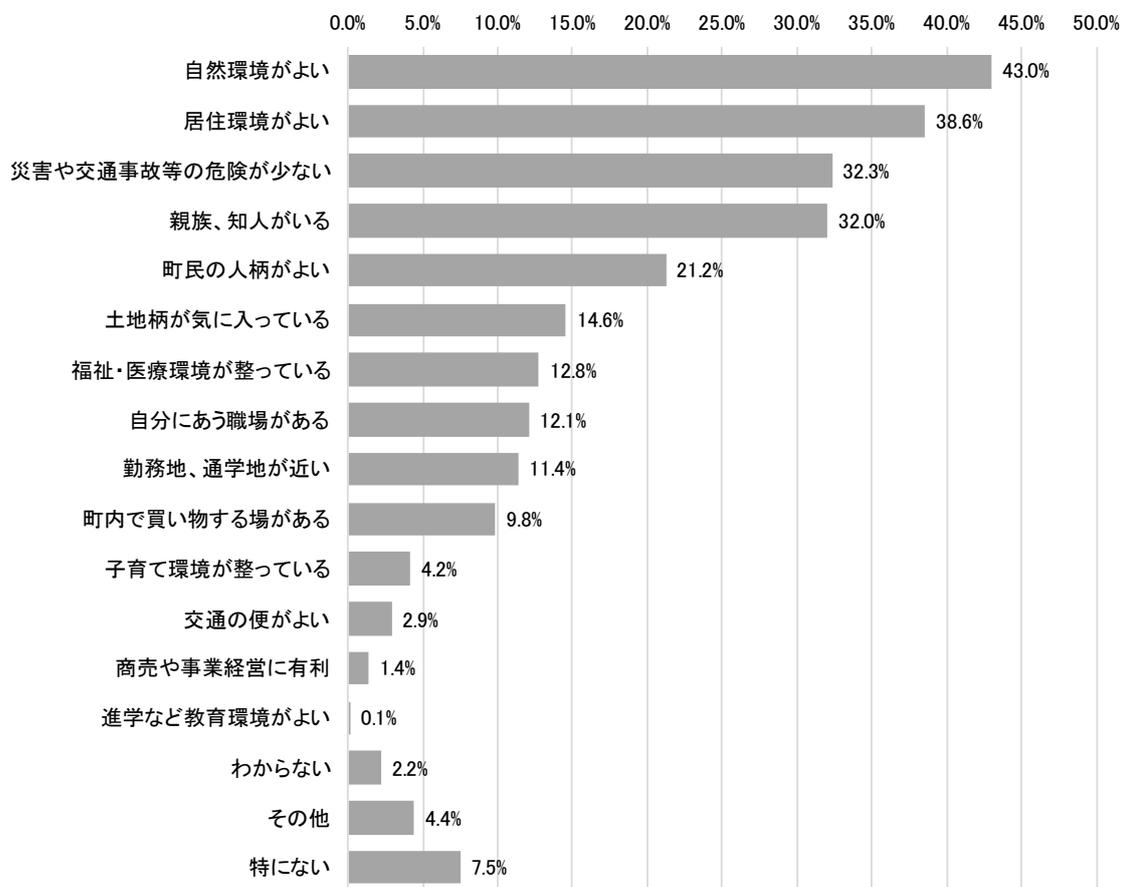
(3) 住み続けたい理由

【問9】問8で、1に○印をつけられた人におたずねします。下川町に住み続けたいと思う主な理由としてあてはまる番号を3つまで選んで○印を付けてください。

結果の要約

- 住み続けたい理由を複数回答でたずねたところ、最も多かったのは、「自然環境がよい」の43.0%
- 2番目は「居住環境がよい」の38.6%
- 3番目は「災害や交通事故等の危険が少ない」の32.3%、僅差で「親族・知人がいる」の32.0%が続く
- 「その他」の自由回答欄には、「家があるから」「仕事があるから」といった回答があった

問9 住み続けたい理由(複数回答) (全体=721人)



	人数	%
自然環境がよい	310	43.0%
居住環境がよい	278	38.6%
災害や交通事故等の危険が少ない	233	32.3%
親族、知人がいる	231	32.0%
町民の人柄がよい	153	21.2%
土地柄が気に入っている	105	14.6%
福祉・医療環境が整っている	92	12.8%
自分にあう職場がある	87	12.1%
勤務地、通学地が近い	82	11.4%

	人数	%
町内で買い物する場がある	71	9.8%
子育て環境が整っている	30	4.2%
交通の便がよい	21	2.9%
商売や事業経営に有利	10	1.4%
進学など教育環境がよい	1	0.1%
わからない	16	2.2%
その他	32	4.4%
特にない	54	7.5%
全体	721	100.0%

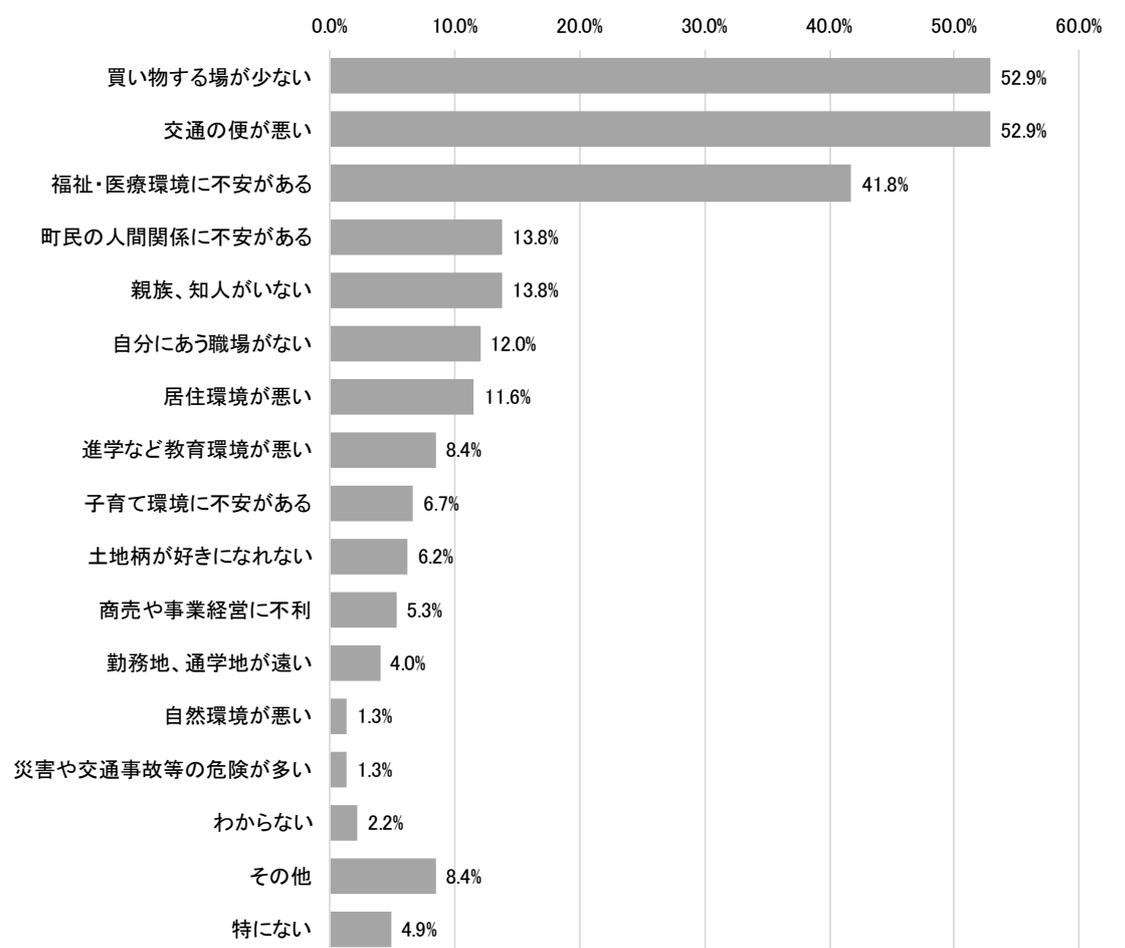
(4) 転居したい理由

【問10】問8で、2に○印をつけられた人におたずねします。町外のどこかに移りたいと思う主な理由としてあてはまる番号を3つまで選んで○印を付けてください。

結果の要約

- 町外に移りたい理由を複数回答でたずねたところ、最も多かったのは「買い物をする場所がない」「交通の便が悪い」の52.9%（同率1位）
- 次に多かったのは「福祉・医療環境に不安がある」の41.8%。次の「町内の人間関係に不安がある」「親族、知人がいない」の13.8%（同率4位）とは30ポイント近く離れている
- 「その他」の自由回答欄には、高齢化や冬の厳しさなどをあげる回答があった

問10 移りたい理由（複数回答）（全体=225人）



	人数	%
買い物する場が少ない	119	52.9%
交通の便が悪い	119	52.9%
福祉・医療環境に不安がある	94	41.8%
町民の人間関係に不安がある	31	13.8%
親族、知人がいない	31	13.8%
自分にあう職場がない	27	12.0%
居住環境が悪い	26	11.6%
進学など教育環境が悪い	19	8.4%
子育て環境に不安がある	15	6.7%

	人数	%
土地柄が好きになれない	14	6.2%
商売や事業経営に不利	12	5.3%
勤務地、通学地が遠い	9	4.0%
自然環境が悪い	3	1.3%
災害や交通事故等の危険が多い	3	1.3%
わからない	5	2.2%
その他	19	8.4%
特にない	11	4.9%
全体	225	100.0%

3. 公区活動・社会活動への参加について

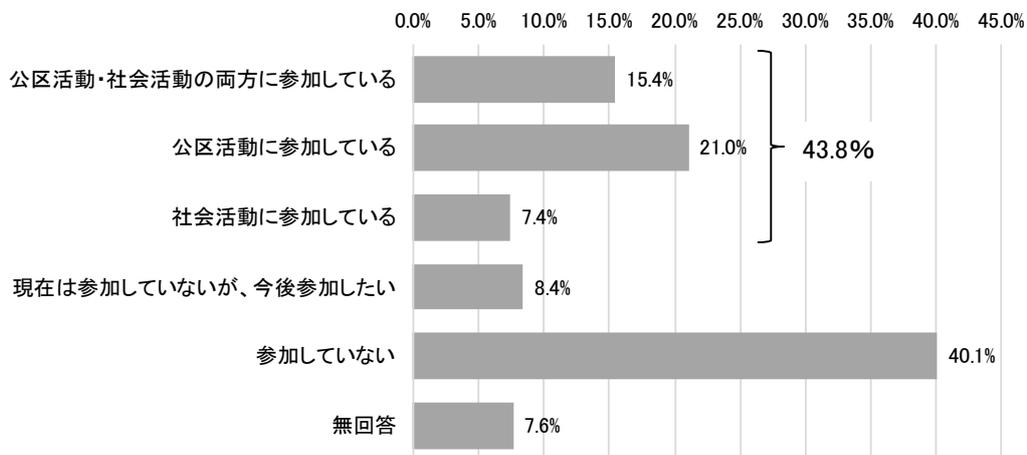
(1) 参加状況

【問11】あなたは、お住まいの地域における公区活動や社会活動に参加していますか。

結果の要約

- 公区活動・社会活動のいずれかの活動に「参加している」と回答したのは、43.8%（438名、両方に参加、片方のみに参加を合わせた数字）
- 「参加していない」は40.1%
- 「今後参加したい」は8.4%

問11 公区活動や社会活動に参加していますか（全体=998人）



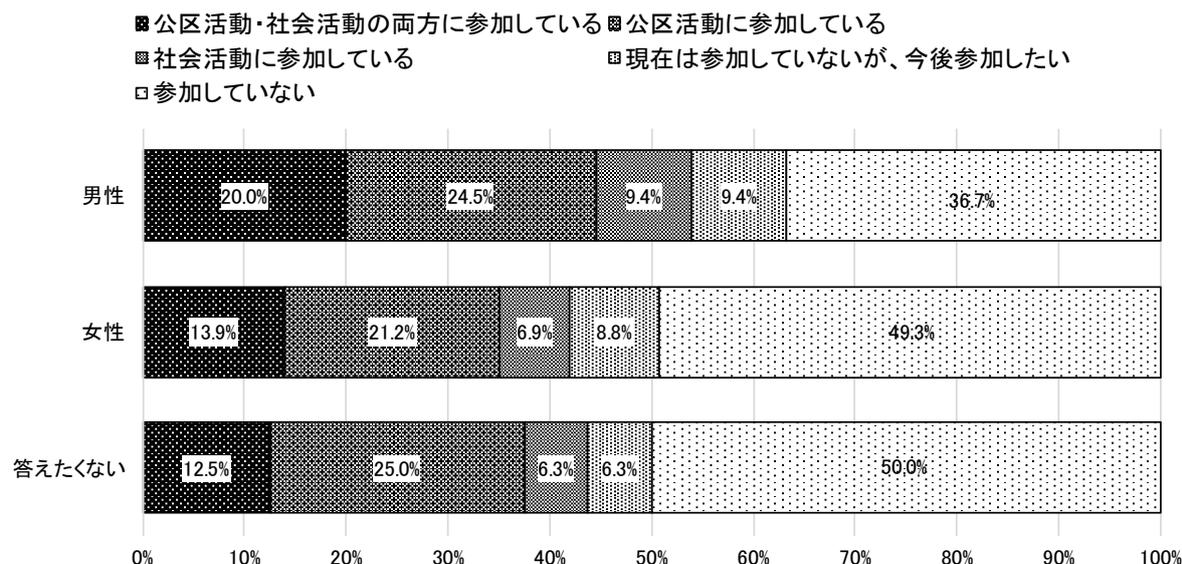
	人数	%
公区活動・社会活動の両方に参加している	154	15.4%
公区活動に参加している	210	21.0%
社会活動に参加している	74	7.4%
現在は参加していないが、今後参加したい	84	8.4%
参加していない	400	40.1%
無回答	76	7.6%
全体	998	100.0%

性別・年齢・職業別集計

結果の要約

- 性別では、男性にいずれかの活動に参加している回答者が 53.9% (235 名) と半数を超えており、女性の 42.0% (196 名) と比べて 10 ポイント以上高い
- 年代別では、18 歳から 29 歳の若い層には、いずれかの活動に参加している回答者が 20.8% (10 名) と少ない。
- 職業別では、経営者・役員では、いずれかの活動に参加している回答者が 74.2% (66 名) に及ぶ

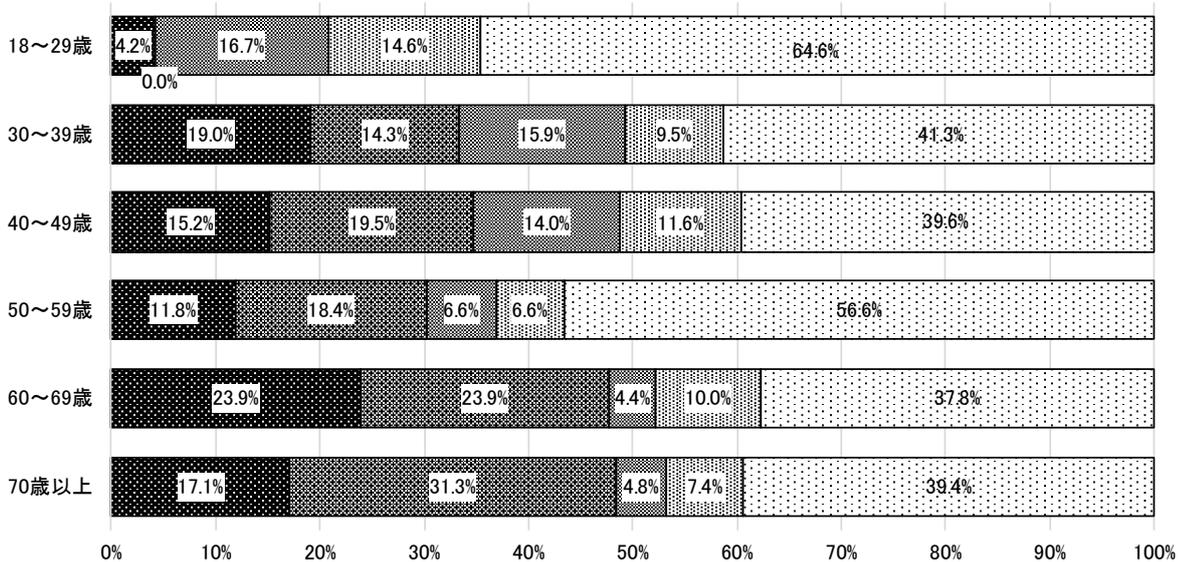
<性別集計> 公区活動や社会活動に参加していますか



		公区活動・ 社会活動の 両方に参加 している	公区活動に 参加してい る	社会活動に 参加してい る	現在は参加 していない が、今後参 加したい	参加してい ない	合計
男性	人数	87	107	41	41	160	436
	%	20.0%	24.5%	9.4%	9.4%	36.7%	100.0%
女性	人数	65	99	32	41	230	467
	%	13.9%	21.2%	6.9%	8.8%	49.3%	100.0%
答えたくない	人数	2	4	1	1	8	16
	%	12.5%	25.0%	6.3%	6.3%	50.0%	100.0%
合計	人数	154	210	74	83	398	919
	%	16.8%	22.9%	8.1%	9.0%	43.3%	100.0%

<年代別集計> 公区活動や社会活動に参加していますか

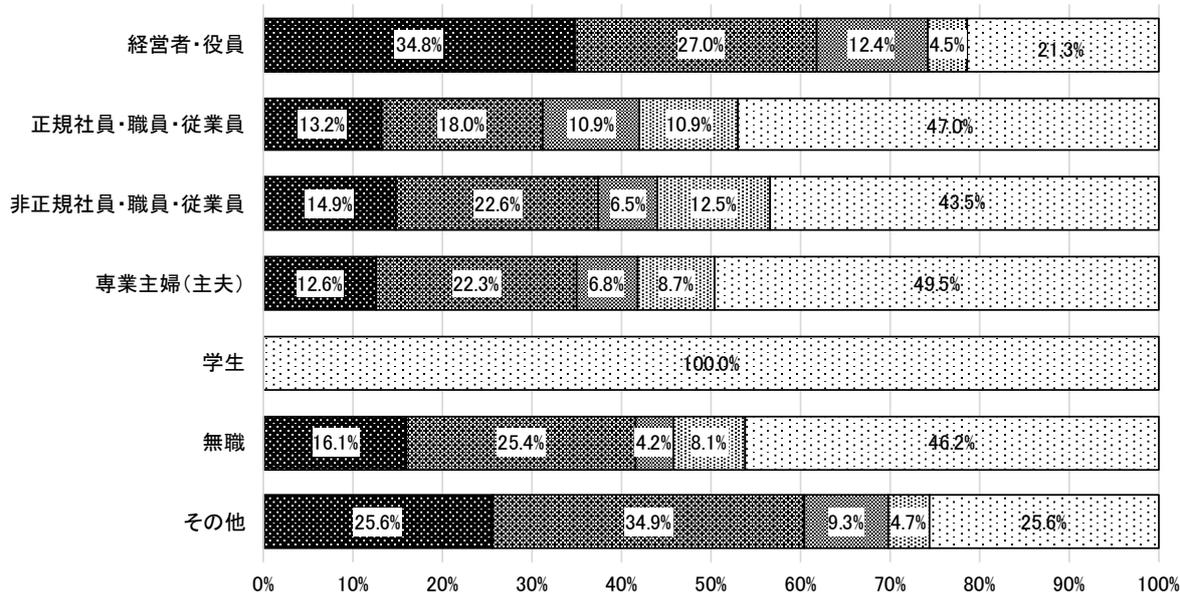
- 公区活動・社会活動の両方に参加している
- 公区活動に参加している
- 社会活動に参加している
- 現在は参加していないが、今後参加したい
- 参加していない



年代	人数	公区活動・社会活動の両方に参加している	公区活動に参加している	社会活動に参加している	現在は参加していないが、今後参加したい	参加していない	合計
		人数	人数	人数	人数		
18~29歳	2	0	8	7	31	48	
	%	4.2%	0.0%	16.7%	14.6%	64.6%	100.0%
30~39歳	12	9	10	6	26	63	
	%	19.0%	14.3%	15.9%	9.5%	41.3%	100.0%
40~49歳	25	32	23	19	65	164	
	%	15.2%	19.5%	14.0%	11.6%	39.6%	100.0%
50~59歳	18	28	10	10	86	152	
	%	11.8%	18.4%	6.6%	6.6%	56.6%	100.0%
60~69歳	43	43	8	18	68	180	
	%	23.9%	23.9%	4.4%	10.0%	37.8%	100.0%
70歳以上	53	97	15	23	122	310	
	%	17.1%	31.3%	4.8%	7.4%	39.4%	100.0%
合計	153	209	74	83	398	917	
	%	16.7%	22.8%	8.1%	9.1%	43.4%	100.0%

<職業別集計> 公区活動や社会活動に参加していますか

- 公区活動・社会活動の両方に参加している
- ▣ 公区活動に参加している
- ▤ 社会活動に参加している
- ▥ 現在は参加していないが、今後参加したい
- 参加していない



		公区活動・ 社会活動の 両方に参加 している	公区活動に 参加してい る	社会活動に 参加してい る	現在は参加 していない が、今後参 加したい	参加してい ない	合計
経営者・役員	人数	31	24	11	4	19	89
	%	34.8%	27.0%	12.4%	4.5%	21.3%	100.0%
正規社員・職	人数	35	48	29	29	125	266
	%	13.2%	18.0%	10.9%	10.9%	47.0%	100.0%
非正規社員・ 職員・従業員	人数	25	38	11	21	73	168
	%	14.9%	22.6%	6.5%	12.5%	43.5%	100.0%
専業主婦(主 夫)	人数	13	23	7	9	51	103
	%	12.6%	22.3%	6.8%	8.7%	49.5%	100.0%
学生	人数	0	0	0	0	7	7
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
無職	人数	38	60	10	19	109	236
	%	16.1%	25.4%	4.2%	8.1%	46.2%	100.0%
その他	人数	11	15	4	2	11	43
	%	25.6%	34.9%	9.3%	4.7%	25.6%	100.0%
合計	人数	153	208	72	84	395	912
	%	16.8%	22.8%	7.9%	9.2%	43.3%	100.0%

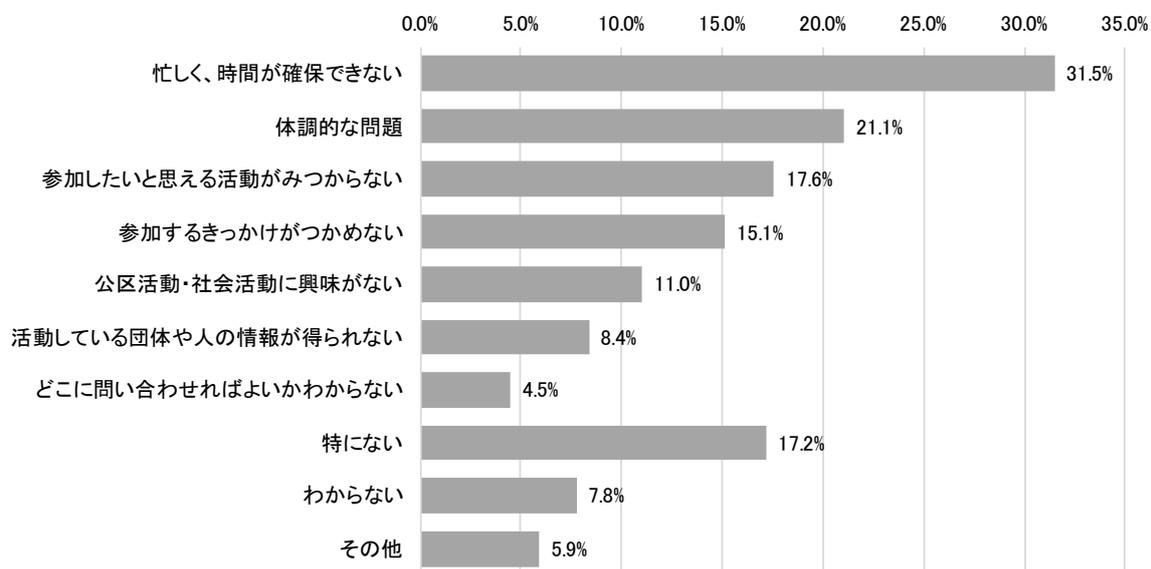
(2) 参加しない理由

【問12】問11で、4・5に○印を付けられた人におたずねします。公区活動や社会活動に参加しない(してこなかった)主な理由を次の中から2つまで選び、番号に○印を付けてください。

結果の要約

- 公区活動・社会活動に参加していない回答者を対象に、参加しない理由を複数回答でたずねたところ、最も多い理由は「忙しく、時間が確保できない」の31.5%だった。
- 「体調的な問題」を挙げた回答者も21.1%いた
- 3番目は「参加したいと思える活動が見つからない」の17.6%だが、僅差で「特にない」と回答した回答者が17.2%いた。
- 「その他」の自由回答欄には、コロナの影響をあげる回答や、高齢であることをあげる回答などがあった

問12 公区活動・社会活動に参加しない理由（複数回答）（全体＝489人）



	人数	%
忙しく、時間が確保できない	154	31.5%
体調的な問題	103	21.1%
参加したいと思える活動が見つからない	86	17.6%
参加するきっかけがつかめない	74	15.1%
公区活動・社会活動に興味がない	54	11.0%
活動している団体や人の情報が得られない	41	8.4%
どこに問い合わせればよいかわからない	22	4.5%
特にない	84	17.2%
わからない	38	7.8%
その他	29	5.9%
全体	489	100.0%

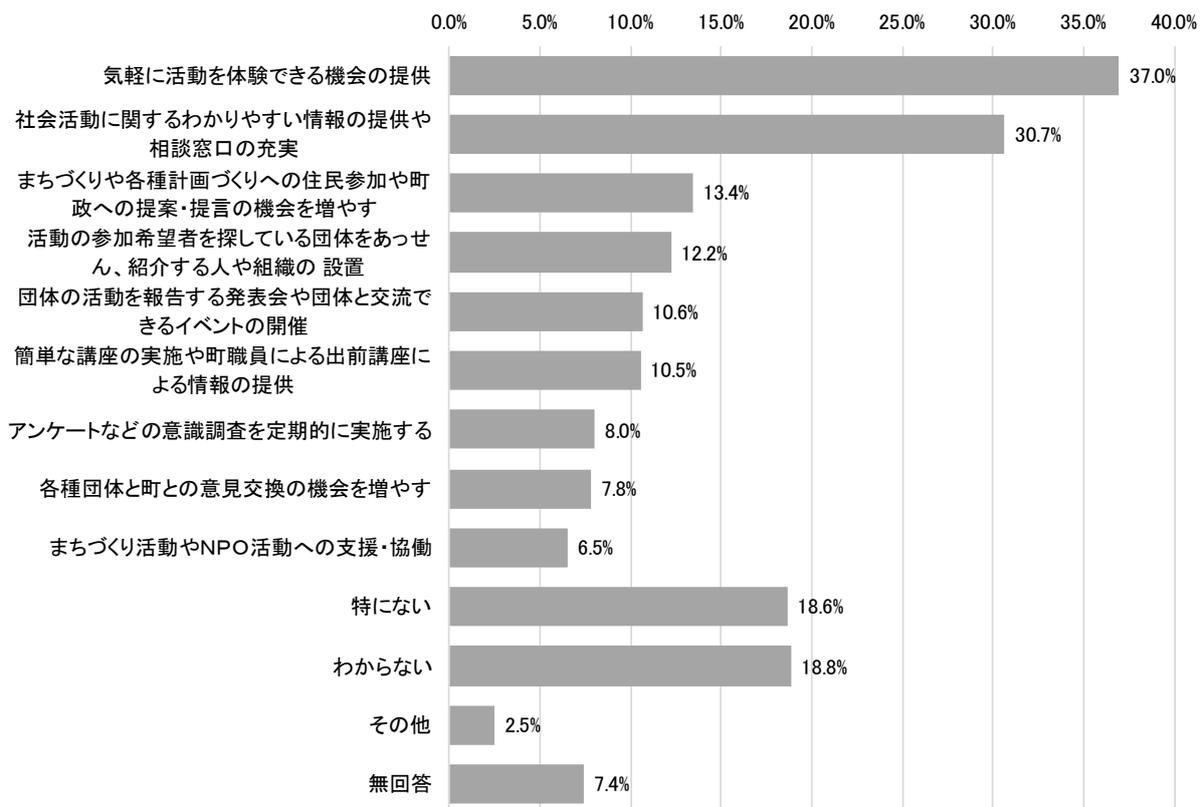
(3) 社会活動や住民参加のまちづくりを進めるうえで必要と思うこと

【問13】社会活動や住民参加のまちづくりを進めるうえで、必要だと思うことを次の中から3つまで選び、番号に○印を付けてください。

結果の要約

- 社会活動や住民参加のまちづくりを進めるうえで必要と思うことを複数回答でたずねたところ、最も多かったのは「気軽に活動を体験できる機会の提供」の37%だった。
- 次いで「社会活動に関するわかりやすい情報の提供や相談窓口の充実」の30.7%が続く
- 上記2項目が30%を超え、他の項目を大きく上回る

問13 社会活動や住民参加のまちづくりをすすめる上で、必要だと思うこと(複数回答) (全体=998人)



	人数	%
気軽に活動を体験できる機会の提供	369	37.0%
社会活動に関するわかりやすい情報の提供や相談窓口の充実	306	30.7%
まちづくりや各種計画づくりへの住民参加や町政への提案・提言の機会を増やす	134	13.4%
活動の参加希望者を探している団体をおっせん、紹介する人や組織の設置	122	12.2%
団体の活動を報告する発表会や団体と交流できるイベントの開催	106	10.6%
簡単な講座の実施や町職員による出前講座による情報の提供	105	10.5%
アンケートなどの意識調査を定期的実施する	80	8.0%

	人数	%
各種団体と町との意見交換の機会を増やす	78	7.8%
まちづくり活動やNPO活動への支援・協働	65	6.5%
特にない	186	18.6%
わからない	188	18.8%
その他	25	2.5%
無回答	74	7.4%
全体	998	100.0%

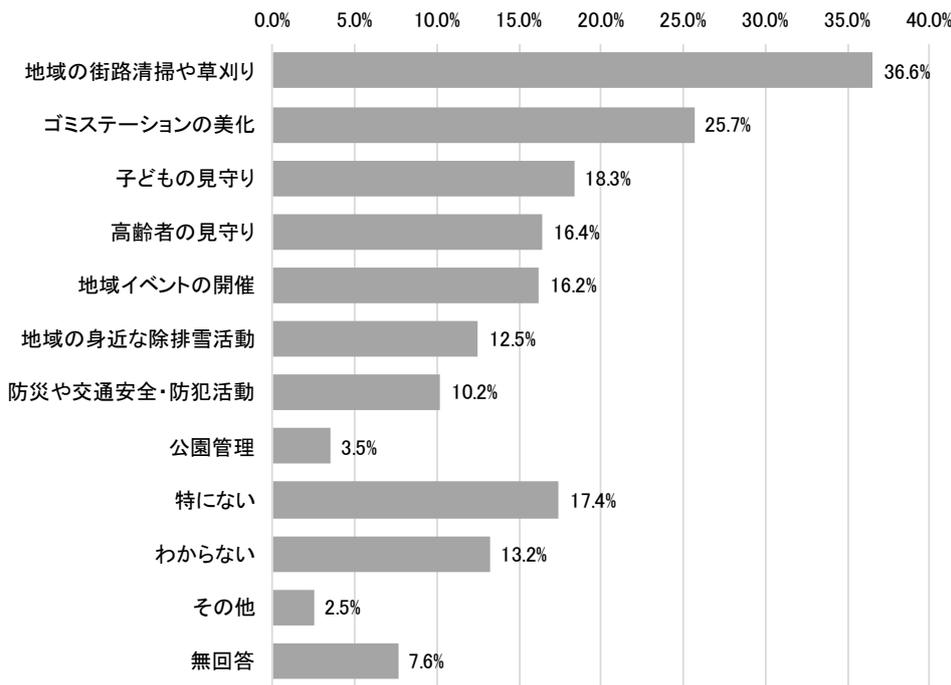
(4) 公区活動や社会活動の中で協力して取り組めるもの

【問14】あなたが公区活動や社会活動の中で協力して取り組めるものは、どのような取り組みですか。次の中から選び、番号に○印を付けてください。(いくつでも可)

結果の要約

- 公区活動や社会活動の中で協力して取り組めるものについて、複数回答でたずねたところ、「地域の街路清掃や草刈り」が36.6%と最も多かった
- 2番目の「ゴミステーションの美化」の25.7%であり、一番多い「地域の街路清掃や草刈り」とは10ポイント程度の差がある
- 3番目の「子どもの見守り」や18.3%だった

問14 公区活動や社会活動の中で協力して取り組めるもの（複数回答）（全体=998人）



	人数	%
地域の街路清掃や草刈り	365	36.6%
ゴミステーションの美化	256	25.7%
子どもの見守り	183	18.3%
高齢者の見守り	164	16.4%
地域イベントの開催	162	16.2%
地域の身近な除排雪活動	125	12.5%
防災や交通安全・防犯活動	102	10.2%
公園管理	35	3.5%
特にない	174	17.4%
わからない	132	13.2%
その他	25	2.5%
無回答	76	7.6%
全体	998	100.0%

年代別・職業別集計

結果の要約

- 年齢が高い層では、「地域の街路掃除や草刈り」「ゴミステーションの美化」「高齢者の見守り」に対して、「協力して取り組める」とする回答が、他の年代よりも多い
- 年齢が低い層では、「子どもの見守り」「地域イベントの開催」のほか、「公園管理」「防災や交通安全・防犯活動」「地域の身近な除排雪活動」が他の年代よりも多い
- 職業別では、経営者・役員は、「街路掃除や草刈り」「防災や交通安全・防犯活動」「地域イベントの開催」「地域の身近な除排雪活動」と多くの活動に対して、「協力して取り組める」とする回答が、他の職業よりも多い
- 専業主婦(主夫)は、「ゴミステーションの美化」をあげるものが、他の職業よりも多い

<年代別集計> 公区活動や社会活動の中で協力して取り組めるもの（複数回答）

	全体	地域の街路清掃 や草刈り	ゴミステーショ ンの美化	公園管理	高齢者の見守り	子どもの見守り	防災や交通安 全・防犯活動
18～29歳	人数 47	10	8	8	7	18	9
	%	21.3%	17.0%	17.0%	14.9%	38.3%	19.1%
30～39歳	人数 60	25	10	4	7	18	8
	%	41.7%	16.7%	6.7%	11.7%	30.0%	13.3%
40～49歳	人数 164	59	42	7	25	55	15
	%	36.0%	25.6%	4.3%	15.2%	33.5%	9.1%
50～59歳	人数 153	55	39	2	21	24	8
	%	35.9%	25.5%	1.3%	13.7%	15.7%	5.2%
60～69歳	人数 178	89	61	7	44	29	24
	%	50.0%	34.3%	3.9%	24.7%	16.3%	13.5%
70歳以上	人数 314	125	96	7	59	38	38
	%	39.8%	30.6%	2.2%	18.8%	12.1%	12.1%
合計	916	363	256	35	163	182	102
		39.6%	27.9%	3.8%	17.8%	19.9%	11.1%

	全体	地域イベントの 開催	地域の身近な除 排雪活動	特にない	わからない	その他
18～29歳	人数 47	17	11	6	6	0
	%	36.2%	23.4%	12.8%	12.8%	0.0%
30～39歳	人数 60	15	8	10	7	3
	%	25.0%	13.3%	16.7%	11.7%	5.0%
40～49歳	人数 164	36	24	24	25	3
	%	22.0%	14.6%	14.6%	15.2%	1.8%
50～59歳	人数 153	21	12	31	32	4
	%	13.7%	7.8%	20.3%	20.9%	2.6%
60～69歳	人数 178	32	24	30	22	2
	%	18.0%	13.5%	16.9%	12.4%	1.1%
70歳以上	人数 314	41	45	71	38	13
	%	13.1%	14.3%	22.6%	12.1%	4.1%
合計	916	162	124	172	130	25
		17.7%	13.5%	18.8%	14.2%	2.7%

囲みのあるセル：合計（最終行）よりも5ポイント以上高い場合

<職業別集計> 公区活動や社会活動の中で協力して取り組めるもの（複数回答）

	合計	地域の街路清掃 や草刈り	ゴミステーショ ンの美化	公園管理	高齢者の見守り	子どもの見守り	防災や交通安 全・防犯活動
経営者・役員	人数 91	53	22	4	20	22	16
	%	58.2%	24.2%	4.4%	22.0%	24.2%	17.6%
正規社員・職 員・従業員	人数 258	99	64	18	45	68	27
	%	38.4%	24.8%	7.0%	17.4%	26.4%	10.5%
非正規社員・ 職員・従業員	人数 164	64	49	5	29	33	19
	%	39.0%	29.9%	3.0%	17.7%	20.1%	11.6%
専業主婦（主 夫）	人数 102	28	40	2	16	17	10
	%	27.5%	39.2%	2.0%	15.7%	16.7%	9.8%
学生	人数 7	2	0	0	0	1	0
	%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%
無職	人数 245	93	67	5	44	33	27
	%	38.0%	27.3%	2.0%	18.0%	13.5%	11.0%
その他	人数 43	24	12	1	7	6	3
	%	55.8%	27.9%	2.3%	16.3%	14.0%	7.0%
合計	人数 910	363	254	35	161	180	102
	%	39.9%	27.9%	3.8%	17.7%	19.8%	11.2%

	合計	地域イベントの 開催	地域の身近な除 排雪活動	特にない	わからない	その他
経営者・役員	人数 91	22	27	9	9	3
	%	24.2%	29.7%	9.9%	9.9%	3.3%
正規社員・職 員・従業員	人数 258	50	37	44	41	1
	%	19.4%	14.3%	17.1%	15.9%	0.4%
非正規社員・ 職員・従業員	人数 164	33	21	28	21	4
	%	20.1%	12.8%	17.1%	12.8%	2.4%
専業主婦（主 夫）	人数 102	17	8	25	11	3
	%	16.7%	7.8%	24.5%	10.8%	2.9%
学生	人数 7	1	1	2	2	0
	%	14.3%	14.3%	28.6%	28.6%	0.0%
無職	人数 245	29	28	57	41	10
	%	11.8%	11.4%	23.3%	16.7%	4.1%
その他	人数 43	9	2	7	5	2
	%	20.9%	4.7%	16.3%	11.6%	4.7%
合計	人数 910	161	124	172	130	23
	%	17.7%	13.6%	18.9%	14.3%	2.5%

囲みのあるセル：合計（最終行）よりも5ポイント以上高い場合

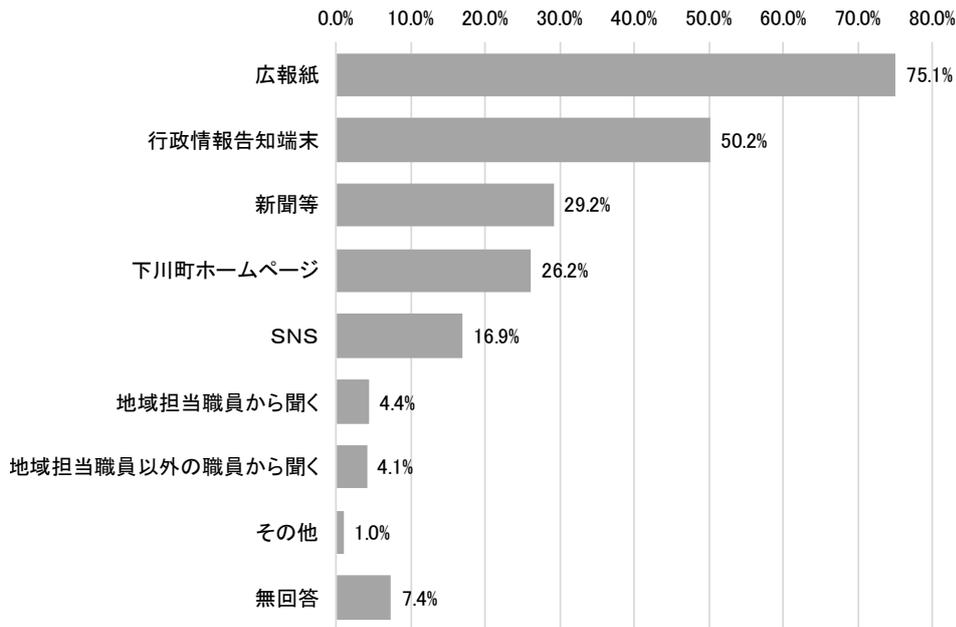
4. 行政情報について

【問15】町政に関する情報の主な入手方法を次の中から選び、番号に○印を付けてください。(いくつでも可)

結果の要約

- 町政の情報の入手方法について複数回答で尋ねたところ、「広報紙」が75.1%と最も多い
- 2番目に多いのが「行政情報告知端末」の50.2%
- 「その他」の自由回答欄には「知人」「回覧板」「個人のブログ」といった回答があった

問15 町政の情報の入手方法(複数回答) (全体=998人)



	人数	%
広報紙	749	75.1%
行政情報告知端末	501	50.2%
新聞等	291	29.2%
下川町ホームページ	261	26.2%
SNS	169	16.9%
地域担当職員から聞く	44	4.4%
地域担当職員以外の職員から聞く	41	4.1%
その他	10	1.0%
無回答	74	7.4%
全体	998	100.0%

5. 各分野において重点的に取り組むべき施策について

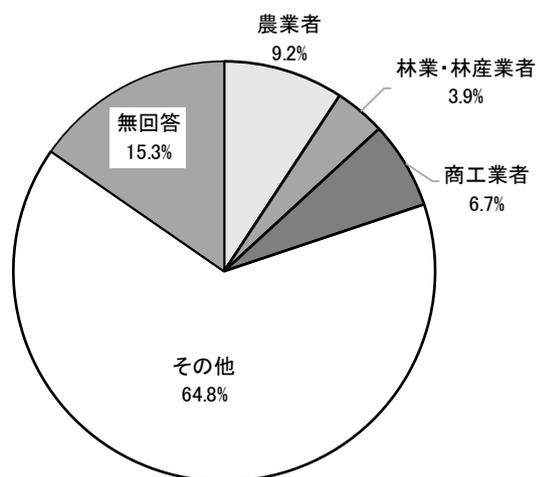
【問16】あなたは、次のどれにあてはまりますか。

結果の要約

- 農業者か、林業・林産業者か、商工業者が尋ねたところ、農業者は 9.2%、林業・林産業者は 3.9%、商工業者は 6.7%であった

問16 あなたの職業（全体=998人）

	人数	%
農業者	92	9.2
林業・林産業者	39	3.9
商工業者	67	6.7
その他	647	64.8
無回答	153	15.3
合計	998	100.0



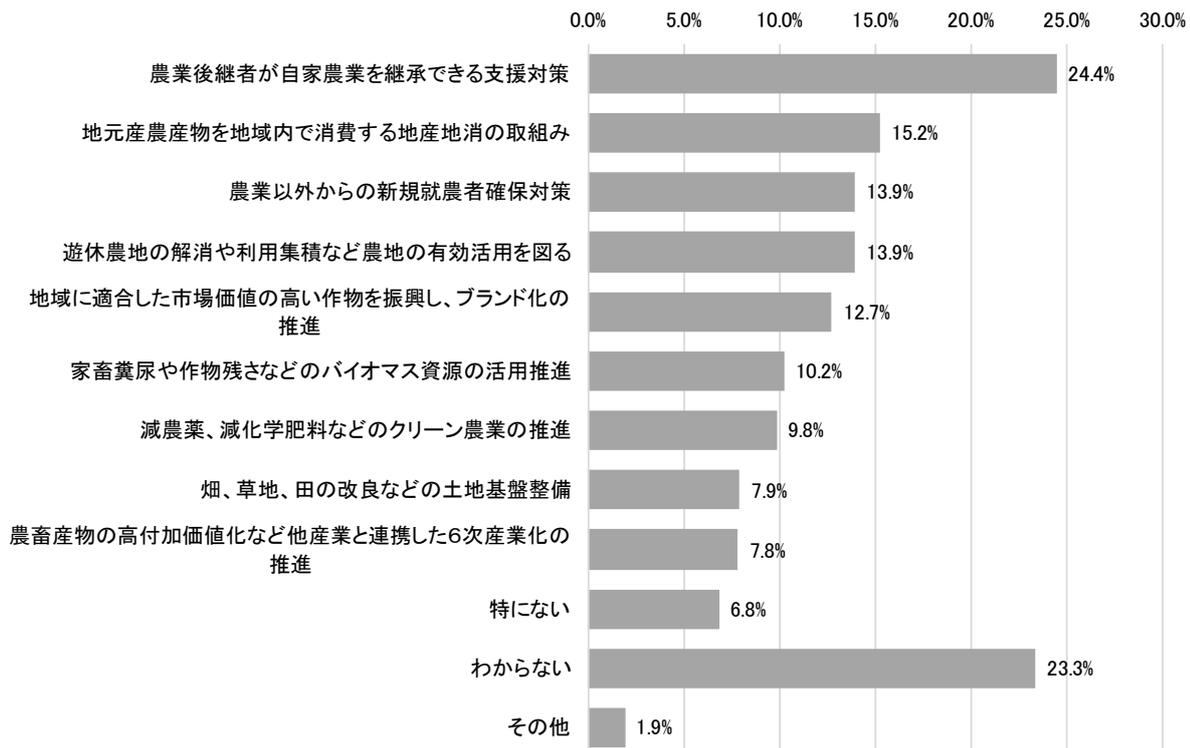
(1) 農業振興で今後重要な施策

【問17】全員に伺います。農業振興について、あなたは今後どのような施策が重要だと思いますか。次の中から特に重要なものを2つまで選び、番号に○印を付けてください。

結果の要約

- 全体では、「農業後継者が自家農業を継承できる支援対策」が24.4%と最も多い
- 農業者のみでは、「農業以外からの新規就農者確保対策」が33.0%と最も多く、次いで「農業後継者が自家農業を継承できる支援対策」の31.9%が多い

問17 農業振興について、今後どのような施策が重要だと思うか(複数回答) (全体=998人)

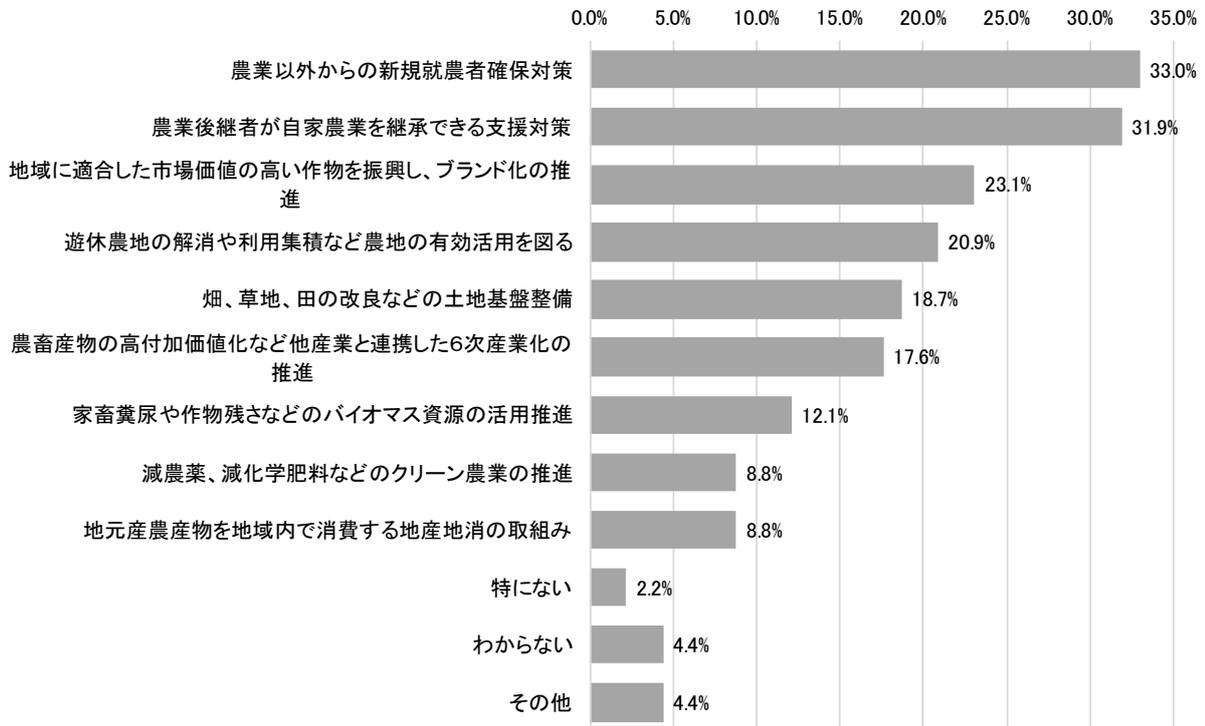


	度数	%
農業後継者が自家農業を継承できる支援対策	244	24.4%
地元産農産物を地域内で消費する地産地消の取組み	152	15.2%
農業以外からの新規就農者確保対策	139	13.9%
遊休農地の解消や利用集積など農地の有効活用を図る	139	13.9%
地域に適合した市場価値の高い作物を振興し、ブランド化の推進	127	12.7%
家畜糞尿や作物残さなどのバイオマス資源の活用推進	102	10.2%

	度数	%
減農薬、減化学肥料などのクリーン農業の推進	98	9.8%
畑、草地、田の改良などの土地基盤整備	79	7.9%
農畜産物の高付加価値化など他産業と連携した6次産業化の推進	78	7.8%
特にない	68	6.8%
わからない	233	23.3%
その他	19	1.9%
全体	998	100.0%

農業者の回答

農業者対象 問17 農業振興について、今後どのような施策が重要だと思うか(複数回答) (全体=91人)



	人数	%
農業以外からの新規就農者確保対策	30	33.0%
農業後継者が自家農業を継承できる支援対策	29	31.9%
地域に適合した市場価値の高い作物を振興し、ブランド化の推進	21	23.1%
遊休農地の解消や利用集積など農地の有効活用を図る	19	20.9%
畑、草地、田の改良などの土地基盤整備	17	18.7%
農畜産物の高付加価値化など他産業と連携した6次産業化の推進	16	17.6%

	人数	%
家畜糞尿や作物残さなどのバイオマス資源の活用推進	11	12.1%
減農薬、減化学肥料などのクリーン農業の推進	8	8.8%
地元産農産物を地域内で消費する地産地消の取組み	8	8.8%
特にない	2	2.2%
わからない	4	4.4%
その他	4	4.4%
全体	91	100.0%

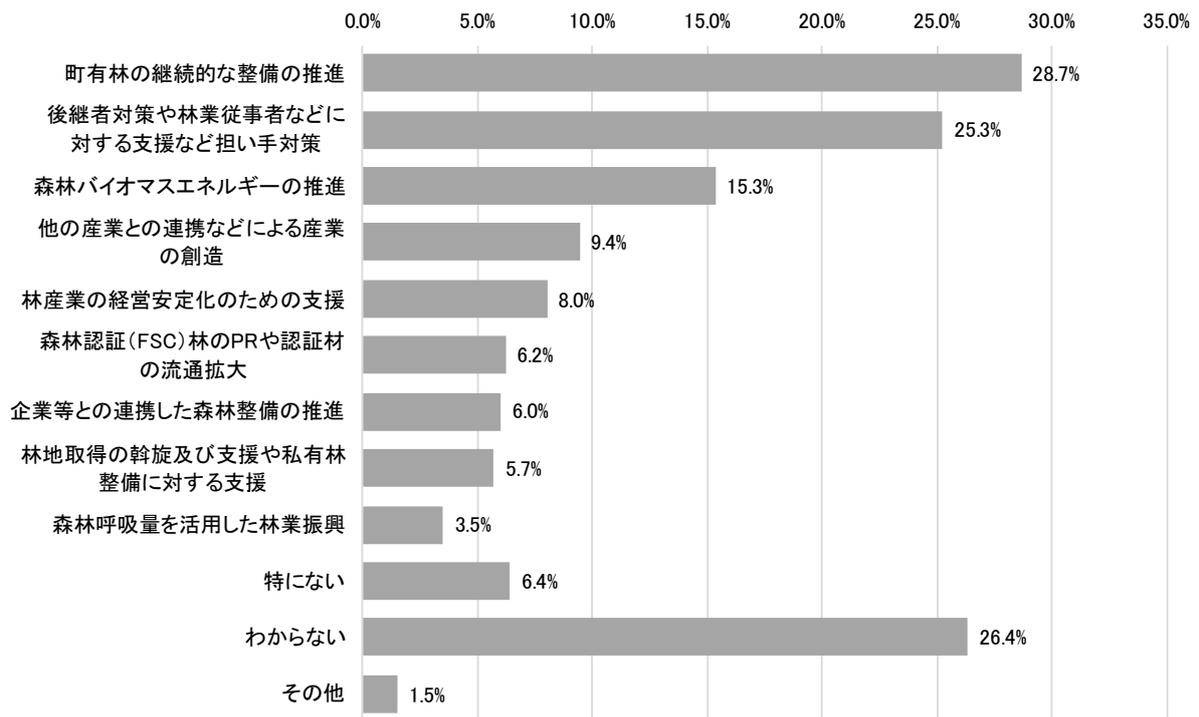
(2) 林業・林産業振興について

【問18】全員に伺います。林業・林産業振興について、あなたは今後どのような施策が重要だと思いますか。次の中から特に重要なものを2つまで選び、番号に○印を付けてください。

結果の要約

- 全体では「町有林の継続的な整備の推進」が28.7%と最も多く、2番目は「後継者対策や林業従事者などに対する支援など担い手対策」の25.3%だった
- 林業者のみでは「後継者対策や林業従事者などに対する支援など担い手対策」が47.4%と半数近くを占めた。2番目は「林産業の経営安定化のための支援」の34.2%

問18 林業振興について、今後どのような施策が重要だと思うか(複数回答) (全体=998人)

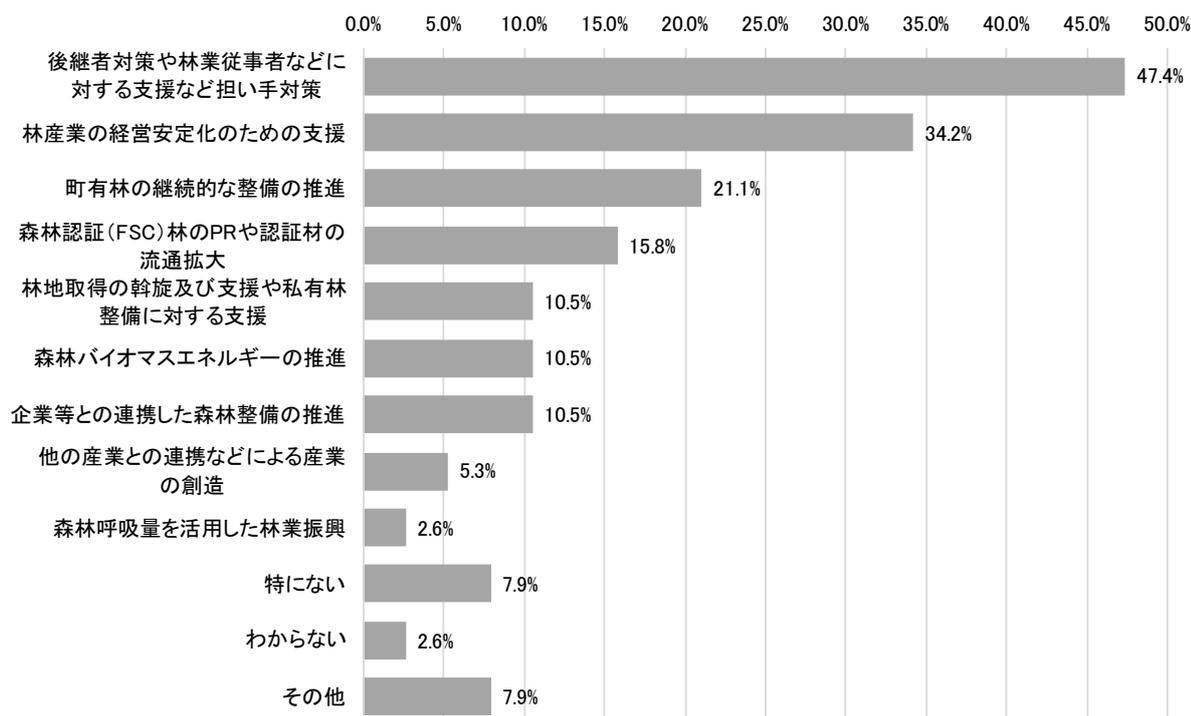


	人数	%
町有林の継続的な整備の推進	286	28.7%
後継者対策や林業従事者などに対する支援など担い手対策	252	25.3%
森林バイオマスエネルギーの推進	153	15.3%
他の産業との連携などによる産業の創造	94	9.4%
林産業の経営安定化のための支援	80	8.0%
森林認証(FSC)林のPRや認証材の流通拡大	62	6.2%

	人数	%
企業等との連携した森林整備の推進	60	6.0%
林地取得の斡旋及び支援や私有林整備に対する支援	57	5.7%
森林呼吸量を活用した林業振興	35	3.5%
特にない	64	6.4%
わからない	263	26.4%
その他	15	1.5%
全体	998	100.0%

林業者の回答

林業者対象 問18 林業振興について、今後どのような施策が重要だと思うか(複数回答) (全体=38人)



	人数	%
後継者対策や林業従事者などに対する支援など担い手対策	18	47.4%
林産業の経営安定化のための支援	13	34.2%
町有林の継続的な整備の推進	8	21.1%
森林認証(FSC)林のPRや認証材の流通拡大	6	15.8%
林地取得の斡旋及び支援や私有林整備に対する支援	4	10.5%
森林バイオマスエネルギーの推進	4	10.5%

	人数	%
企業等との連携した森林整備の推進	4	10.5%
他の産業との連携などによる産業の創造	2	5.3%
森林呼吸量を活用した林業振興	1	2.6%
特にない	3	7.9%
わからない	1	2.6%
その他	3	7.9%
全体	38	100.0%

(3) 商工業振興について

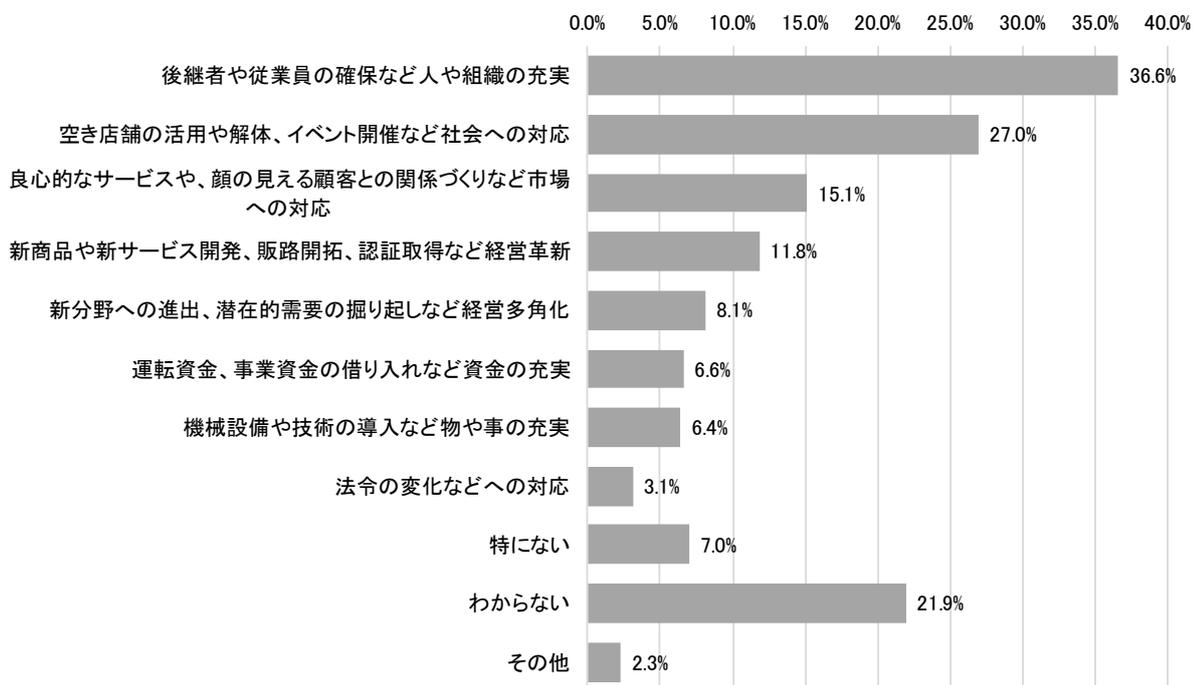
①商業工業で今後重要な施策

【問19】全員に伺います。商工業振興について、あなたは今後どのような施策が重要だと思いますか。次の中から特に重要なものを2つまで選び、番号に○印を付けてください。

結果の要約

- 全体では、「後継者や従業員の確保など人や組織の充実」が一番多く36.6%。2番目は「空き店舗の活用や解体、イベント開催など社会への対応」の27.0%
- 商工業者のみでも上位2項目の順位は同じ。「後継者や従業員の確保など人や組織の充実」が53.7%と半数を超えた。

問19 商工業振興について、今後どのような施策が重要だと思うか（複数回答）（全体=998人）

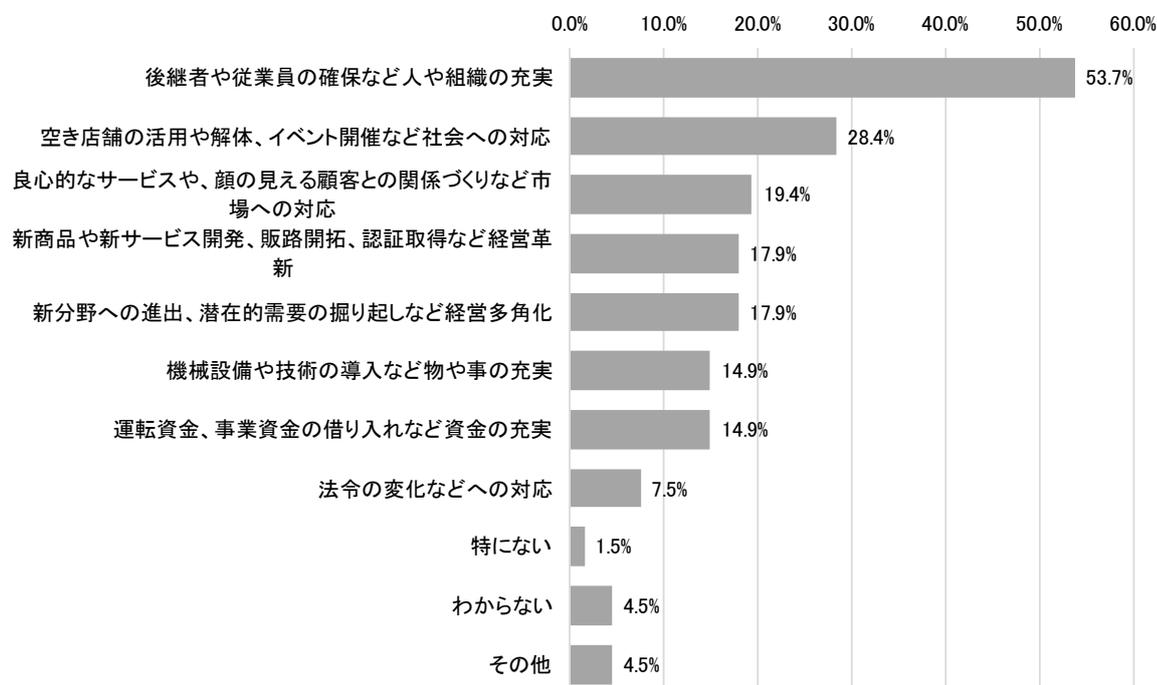


	人数	%
後継者や従業員の確保など人や組織の充実	365	36.6%
空き店舗の活用や解体、イベント開催など社会への対応	269	27.0%
良心的なサービスや、顔の見える顧客との関係づくりなど市場への対応	151	15.1%
新商品や新サービス開発、販路開拓、認証取得など経営革新	118	11.8%
新分野への進出、潜在的需要の掘り起しなど経営多角化	81	8.1%
運転資金、事業資金の借り入れなど資金の充実	66	6.6%

	人数	%
機械設備や技術の導入など物や事の充実	64	6.4%
法令の変化などへの対応	31	3.1%
特にない	70	7.0%
わからない	219	21.9%
その他	23	2.3%
全体	998	100.0%

商工業者の回答

商工業者対象 問19 商工業振興について、今後どのような施策が重要だと思うか(複数回答) (全体=67人)



	人数	%
後継者や従業員の確保など人や組織の充実	36	53.7%
空き店舗の活用や解体、イベント開催など社会への対応	19	28.4%
良心的なサービスや、顔の見える顧客との関係づくりなど市場への対応	13	19.4%
新商品や新サービス開発、販路開拓、認証取得など経営革新	12	17.9%
新分野への進出、潜在的需要の掘り起しなど経営多角化	12	17.9%
機械設備や技術の導入など物や事の充実	10	14.9%

	人数	%
運転資金、事業資金の借入れなど資金の充実	10	14.9%
法令の変化などへの対応	5	7.5%
特にない	1	1.5%
わからない	3	4.5%
その他	3	4.5%
全体	67	100.0%

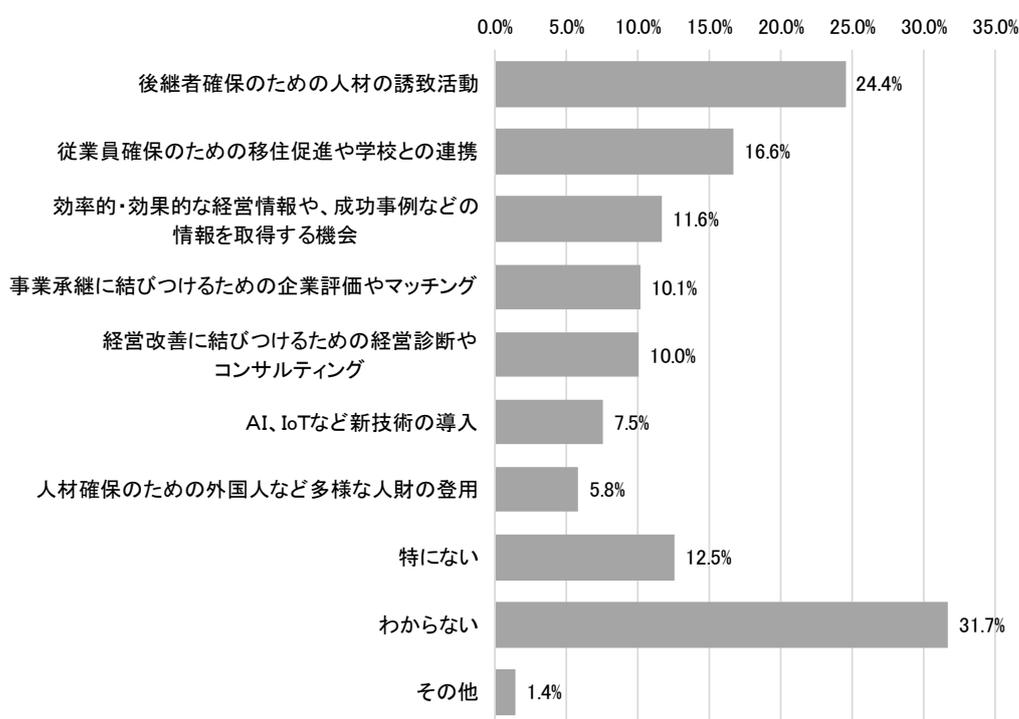
②商工業振興で今後利用したい施策

【問20】全員に伺います。商工業振興について、あなたは今後どのような施策を利用したいと思いますか。次の中から2つまで選び、番号に○印を付けてください。

結果の要約

- 全体では「わからない」を除いて、最も多いのが、「後継者確保のための人材の誘致活動」の24.4%、2番目は「従業員確保のための移住促進や学校との連携」の16.6%
- 商工業者のみでは、1位は「従業員確保のための移住促進や学校との連携」の32.3%、2番目は「後継者確保のための人材の誘致活動」の26.2%

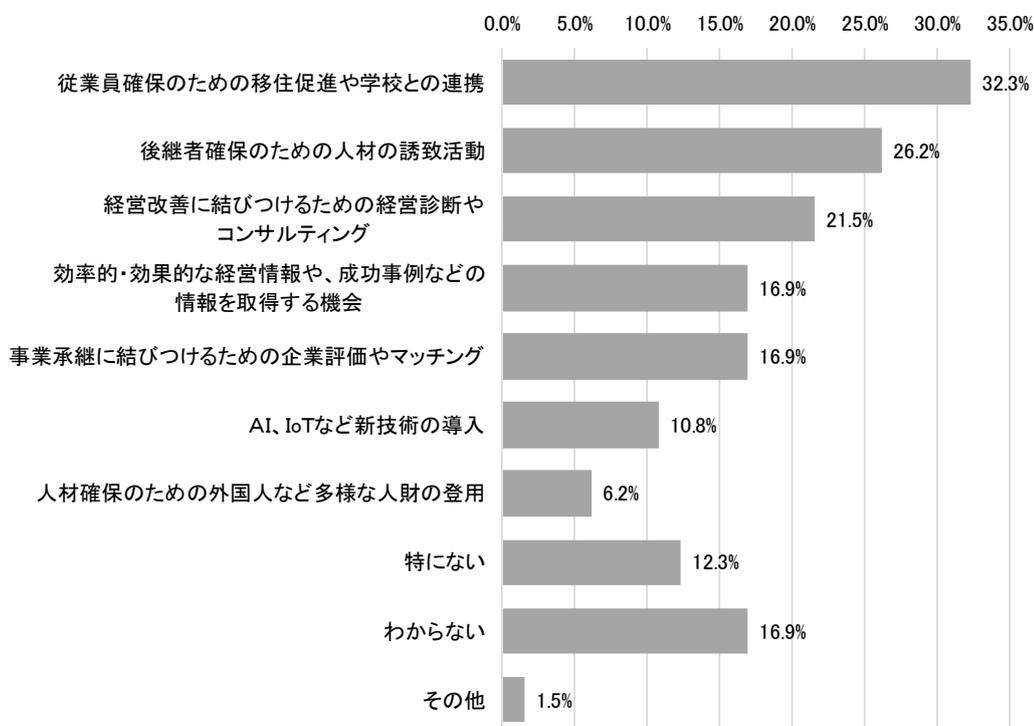
問20 商工業振興について、どのような施策を利用したいと思うか（複数回答）（全体=998人）



	度数	%
後継者確保のための人材の誘致活動	244	24.4%
従業員確保のための移住促進や学校との連携	166	16.6%
効率的・効果的な経営情報や、成功事例などの情報を取得する機会	116	11.6%
事業承継に結びつけるための企業評価やマッチング	101	10.1%
経営改善に結びつけるための経営診断やコンサルティング	100	10.0%
AI、IoTなど新技術の導入	75	7.5%
人材確保のための外国人など多様な人財の登用	58	5.8%
特にない	125	12.5%
わからない	316	31.7%
その他	14	1.4%
全体	998	100.0%

商工業者の回答

商工業者対象 問20 商工業振興について、どのような施策を利用したいと思うか（複数回答）
（全体=65人）



	人数	%
従業員確保のための移住促進や学校との連携	21	32.3%
後継者確保のための人材の誘致活動	17	26.2%
経営改善に結びつけるための経営診断やコンサルティング	14	21.5%
効率的・効果的な経営情報や、成功事例などの情報を取得する機会	11	16.9%
事業承継に結びつけるための企業評価やマッチング	11	16.9%
AI、IoTなど新技術の導入	7	10.8%
人材確保のための外国人など多様な人財の登用	4	6.2%
特にない	8	12.3%
わからない	11	16.9%
その他	1	1.5%
全体	65	100.0%

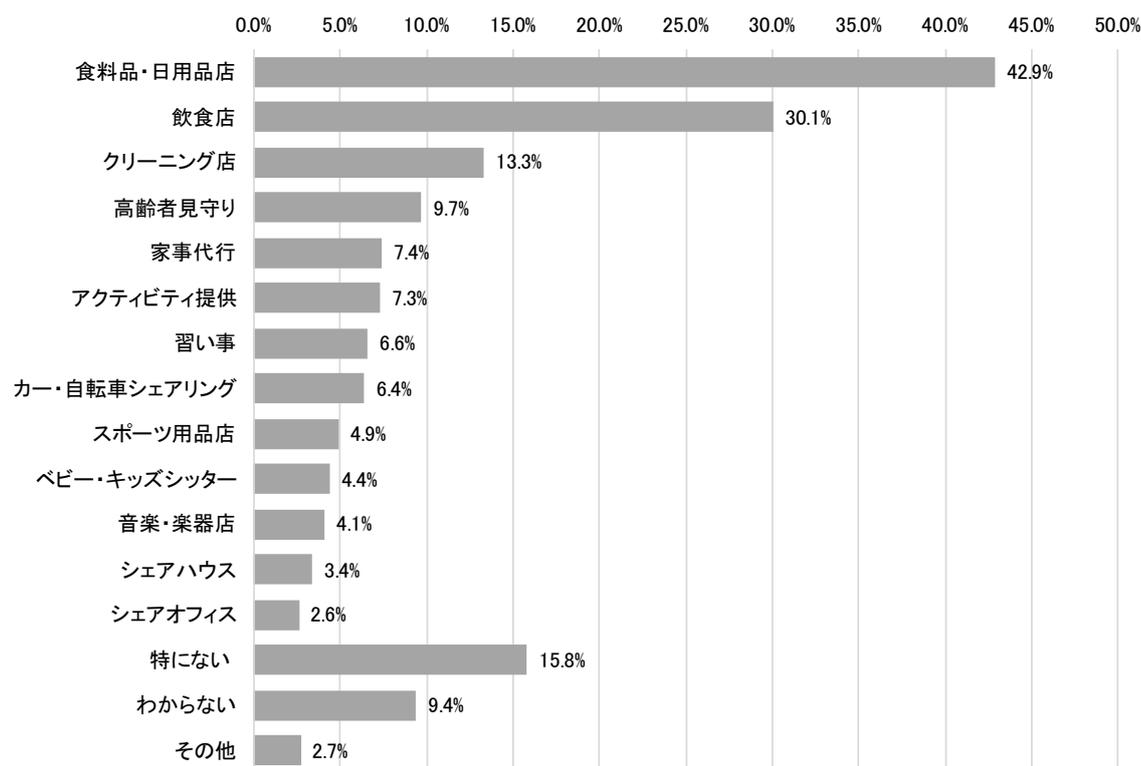
③今後利用したい商店やサービス

【問21】あなたは今後どのような商店やサービスを利用したいと思いますか。次の中から選び、番号に○印を付けてください。(いくつでも可)

結果の要約

- 最も多いのは「食料品・日用品店」の42.9%、2番目は「飲食店」30.1%、この2項目は3番目以降に比べて15ポイント以上高い
- 年代別では、若い年代の方が、「利用したい」として選択する商店やサービスが多い
- 職業別では、他の職業と比べて、経営者・役員、正規社員に、「利用したい」として選択する商店やサービスが多い

問21 今後どのような商店やサービスを利用したいと思うか(複数回答) (全体=998人)



	人数	%
食料品・日用品店	428	42.9%
飲食店	300	30.1%
クリーニング店	133	13.3%
高齢者見守り	97	9.7%
家事代行	74	7.4%
アクティビティ提供	73	7.3%
習い事	66	6.6%
カー・自転車シェアリング	64	6.4%

	人数	%
スポーツ用品店	49	4.9%
ベビー・キッズシッター	44	4.4%
音楽・楽器店	41	4.1%
シェアハウス	34	3.4%
シェアオフィス	26	2.6%
特にない	158	15.8%
わからない	94	9.4%
その他	27	2.7%
全体	998	100.0%

年代別・職業別集計

年代別集計		合計	飲食店	食料品・日用品店	音楽・楽器店	スポーツ用品店	クリーニング店	ベビー・キッズシッター	家事代行	高齢者見守り
18～29歳	人数	48	21	25	5	11	7	7	3	1
	%		43.8%	52.1%	10.4%	22.9%	14.6%	14.6%	6.3%	2.1%
30～39歳	人数	64	30	28	5	5	14	14	9	2
	%		46.9%	43.8%	7.8%	7.8%	21.9%	21.9%	14.1%	3.1%
40～49歳	人数	158	82	86	11	12	29	13	11	9
	%		51.9%	54.4%	7.0%	7.6%	18.4%	8.2%	7.0%	5.7%
50～59歳	人数	152	59	72	7	6	26	6	8	13
	%		38.8%	47.4%	4.6%	3.9%	17.1%	3.9%	5.3%	8.6%
60～69歳	人数	172	53	71	8	8	26	3	14	17
	%		30.8%	41.3%	4.7%	4.7%	15.1%	1.7%	8.1%	9.9%
70歳以上	人数	305	51	143	4	5	29	1	29	55
	%		16.7%	46.9%	1.3%	1.6%	9.5%	0.3%	9.5%	18.0%
合計	人数	899	296	425	40	47	131	44	74	97
	%		32.9%	47.3%	4.4%	5.2%	14.6%	4.9%	8.2%	10.8%

		合計	習い事	アクティビティ提供	シェアハウス	カー・自転車シェアリング	シェアオフィス	特にない	わからない	その他
18～29歳	人数	48	6	10	3	3	5	7	5	0
	%		12.5%	20.8%	6.3%	6.3%	10.4%	14.6%	10.4%	0.0%
30～39歳	人数	64	15	10	3	11	3	9	3	2
	%		23.4%	15.6%	4.7%	17.2%	4.7%	14.1%	4.7%	3.1%
40～49歳	人数	158	28	23	4	15	3	17	6	8
	%		17.7%	14.6%	2.5%	9.5%	1.9%	10.8%	3.8%	5.1%
50～59歳	人数	152	8	15	4	9	8	25	14	4
	%		5.3%	9.9%	2.6%	5.9%	5.3%	16.4%	9.2%	2.6%
60～69歳	人数	172	5	8	5	11	3	33	25	7
	%		2.9%	4.7%	2.9%	6.4%	1.7%	19.2%	14.5%	4.1%
70歳以上	人数	305	3	5	15	14	4	66	40	6
	%		1.0%	1.6%	4.9%	4.6%	1.3%	21.6%	13.1%	2.0%
合計	人数	899	65	71	34	63	26	157	93	27
	%		7.2%	7.9%	3.8%	7.0%	2.9%	17.5%	10.3%	3.0%

囲みのあるセル：合計（最終行）よりも5ポイント以上高い場合

職業別集計

		合計	飲食店	食料品・日用品店	音楽・楽器店	スポーツ用品店	クリーニング店	ベビー・キッズシッター	家事代行	高齢者見守り
経営者・役員	人数	91	37	45	5	3	18	4	7	8
	%		40.7%	49.5%	5.5%	3.3%	19.8%	4.4%	7.7%	8.8%
正規社員・職員・従業員	人数	258	109	114	18	27	43	21	21	19
	%		42.2%	44.2%	7.0%	10.5%	16.7%	8.1%	8.1%	7.4%
非正規社員・職員・従業員	人数	167	62	80	7	10	31	11	11	14
	%		37.1%	47.9%	4.2%	6.0%	18.6%	6.6%	6.6%	8.4%
専業主婦（主夫）	人数	98	33	48	2	1	11	4	6	7
	%		33.7%	49.0%	2.0%	1.0%	11.2%	4.1%	6.1%	7.1%
学生	人数	7	2	3	0	0	0	0	0	0
	%		28.6%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無職	人数	236	41	111	8	6	18	4	24	42
	%		17.4%	47.0%	3.4%	2.5%	7.6%	1.7%	10.2%	17.8%
その他	人数	39	13	22	0	0	10	0	5	7
	%		33.3%	56.4%	0.0%	0.0%	25.6%	0.0%	12.8%	17.9%
合計	人数	896	297	423	40	47	131	44	74	97
	%		33.1%	47.2%	4.5%	5.2%	14.6%	4.9%	8.3%	10.8%

		合計	習い事	アクティビティ提供	シェアハウス	カー・自転車シェアリング	シェアオフィス	特にない	わからない	その他
経営者・役員	人数	91	6	12	6	6	7	13	6	4
	%		6.6%	13.2%	6.6%	6.6%	7.7%	14.3%	6.6%	4.4%
正規社員・職員・従業員	人数	258	33	36	8	21	11	40	17	6
	%		12.8%	14.0%	3.1%	8.1%	4.3%	15.5%	6.6%	2.3%
非正規社員・職員・従業員	人数	167	12	19	5	17	2	28	18	7
	%		7.2%	11.4%	3.0%	10.2%	1.2%	16.8%	10.8%	4.2%
専業主婦（主夫）	人数	98	6	1	1	4	1	16	13	3
	%		6.1%	1.0%	1.0%	4.1%	1.0%	16.3%	13.3%	3.1%
学生	人数	7	0	0	0	0	0	2	2	0
	%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	28.6%	0.0%
無職	人数	236	6	4	13	14	3	54	32	7
	%		2.5%	1.7%	5.5%	5.9%	1.3%	22.9%	13.6%	3.0%
その他	人数	39	2	0	1	1	1	4	5	0
	%		5.1%	0.0%	2.6%	2.6%	2.6%	10.3%	12.8%	0.0%
合計	人数	896	65	72	34	63	25	157	93	27
	%		7.3%	8.0%	3.8%	7.0%	2.8%	17.5%	10.4%	3.0%

囲みのあるセル：合計（最終行）よりも5ポイント以上高い場合

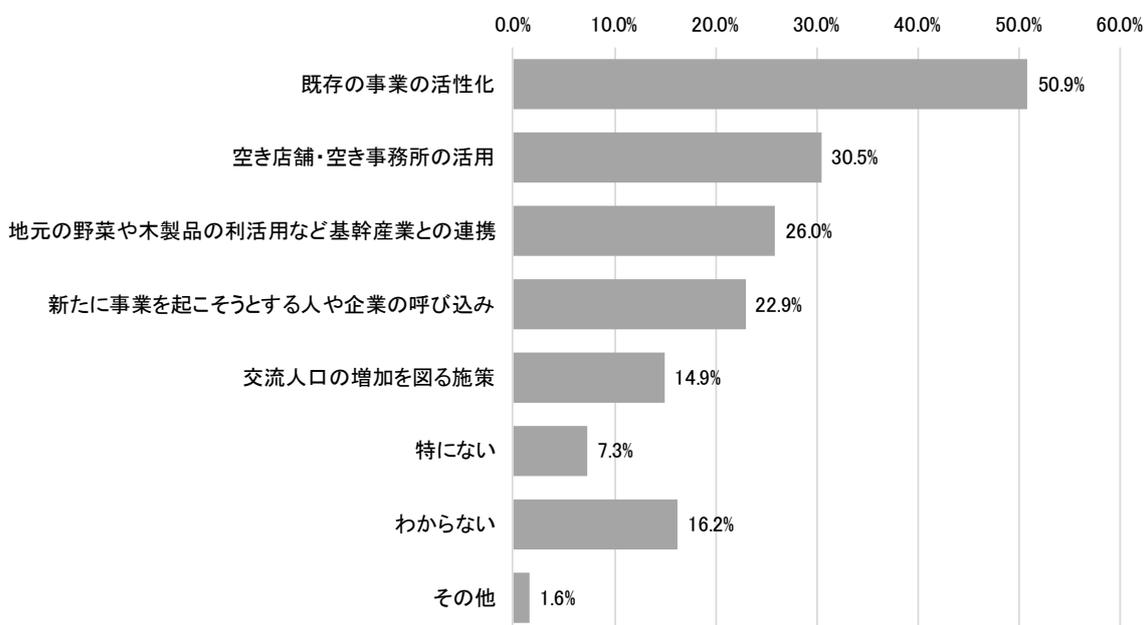
④商工業振興で今後必要な取り組み

【問22】商工業の発展のために、あなたは今後どのような取り組みが必要だと思いますか。次の中から選び、番号に○印を付けてください。(いくつでも可)

結果の要約

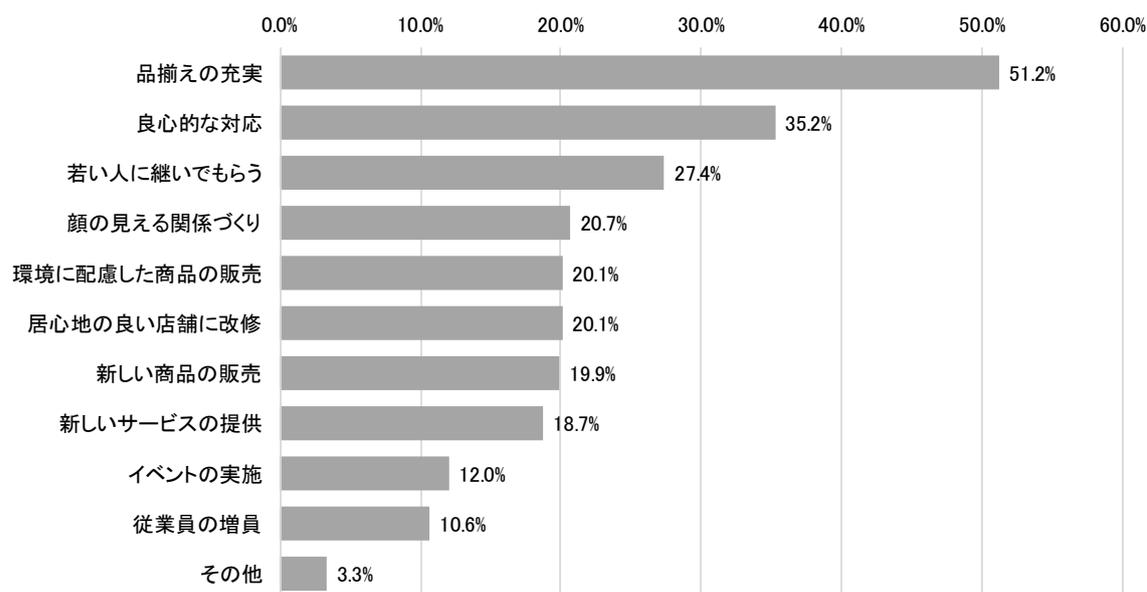
- 最も多いのは「既存の事業の活性化」の 50.9%で、2番目の「空き店舗・空き事務所の活用」の 30.5%と比較して 20 ポイントほど高い
- 「既存の事業の活性化」を選択した回答者に、その内容をたずねたところ、「品揃えの充実」が 51.2%と最も多く、2番目に多かったのは「良心的な対応」の 35.2%、3番目は「若い人に継いでもらう」の 27.4%だった
- 「その他」の自由回答欄には、「人口の増加」に言及するものが複数あった

問22 商工業の発展のために、今後どのような取り組みが必要だと思うか（複数回答）（全体=998人）



	度数	%
既存の事業の活性化	508	50.9%
空き店舗・空き事務所の活用	304	30.5%
地元の野菜や木製品の利活用 など基幹産業との連携	259	26.0%
新たに事業を起こそうとする人や 企業の呼び込み	229	22.9%
交流人口の増加を図る施策	149	14.9%
特にない	73	7.3%
わからない	162	16.2%
その他	16	1.6%
全体	998	100.0%

問22 既存の事情の活性化の内容について（問22の付帯設問／複数回答）（全体=508人）



	人数	%
品揃えの充実	260	51.2%
良心的な対応	179	35.2%
若い人に継いでもらう	139	27.4%
顔の見える関係づくり	105	20.7%
環境に配慮した商品の販売	102	20.1%
居心地の良い店舗に改修	102	20.1%
新しい商品の販売	101	19.9%
新しいサービスの提供	95	18.7%
イベントの実施	61	12.0%
従業員の増員	54	10.6%
その他	17	3.3%
全体	508	100.0%

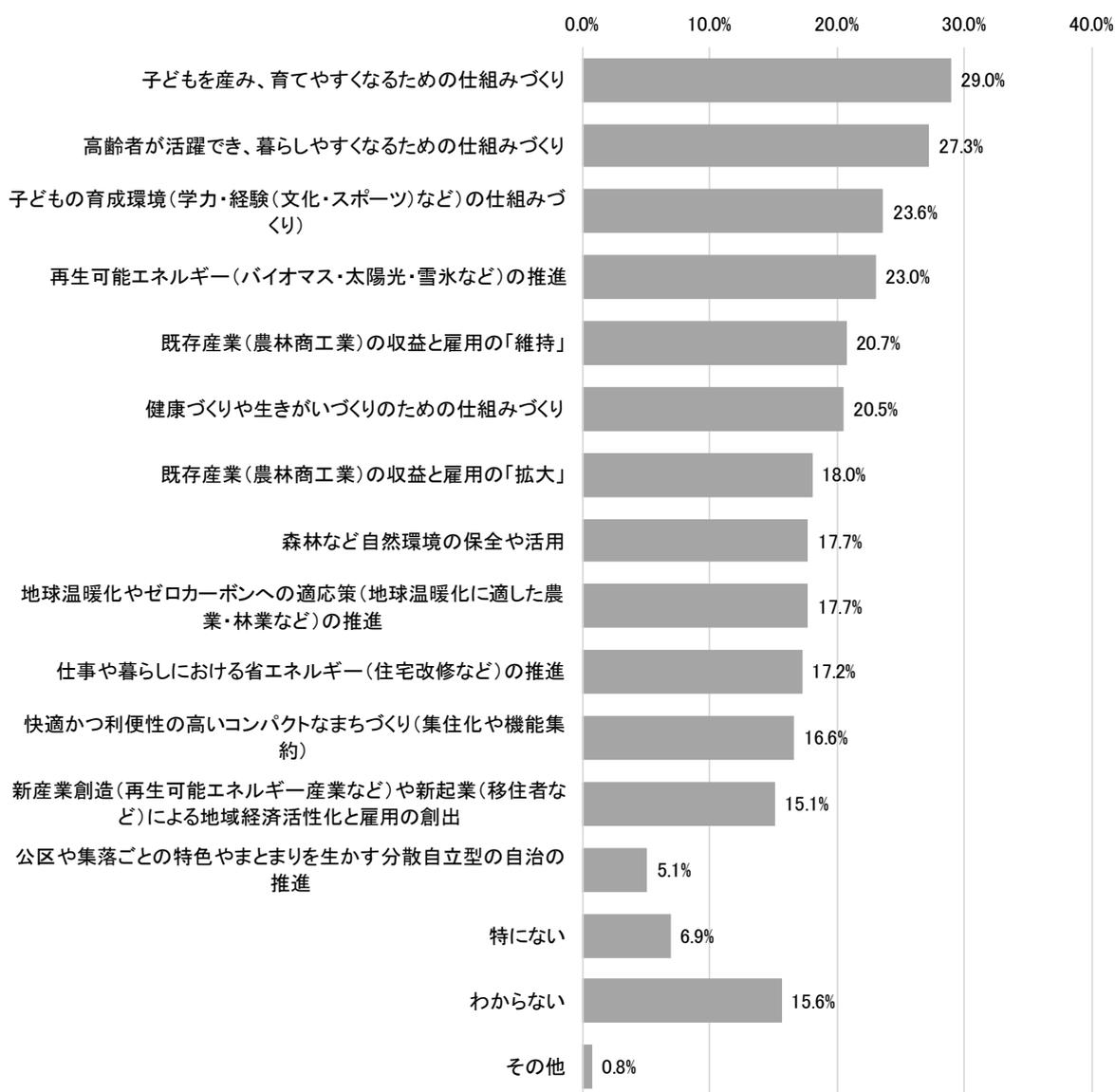
(4) SDGs 未来都市の推進について

【問23】あなたは町がSDGs未来都市として、どのような政策に重点的に取り組むべきだと思いますか。次の中から選び、番号に○印を付けてください。(いくつでも可)

結果の要約

- 最も多いのは「子どもを産み、育てやすくなるための仕組みづくり」の 29.0%、2番目は「高齢者が活躍でき、暮らしやすくなるための仕組みづくり」の 27.3%
- 全体的に、項目間にあまり大きな差はない
- 年代別では、40歳代以下に、子どもに関連する項目や、環境系の項目を選ぶ割合が他の年代に比べて高い
- 職業別では、他の職業に比べて、経営者・役員は多くの項目に取り組むべきと回答している

問23 SDGs 未来都市として、どのような政策に重点的に取り組むべきだと思うか（複数回答）
（全体=998人）



	人数	%
子どもを産み、育てやすくなるための仕組みづくり	289	29.0%
高齢者が活躍でき、暮らしやすくなるための仕組みづくり	272	27.3%
子どもの育成環境（学力・経験（文化・スポーツ）など）の仕組みづくり	236	23.6%
再生可能エネルギー（バイオマス・太陽光・雪氷など）の推進	230	23.0%
既存産業（農林商工業）の収益と雇用の「維持」	207	20.7%
健康づくりや生きがいづくりのための仕組みづくり	205	20.5%
既存産業（農林商工業）の収益と雇用の「拡大」	180	18.0%
森林など自然環境の保全や活用	177	17.7%

	人数	%
地球温暖化やゼロカーボンへの適応策（地球温暖化に適した農業・林業など）の推進	177	17.7%
仕事や暮らしにおける省エネルギー（住宅改修など）の推進	172	17.2%
快適かつ利便性の高いコンパクトなまちづくり（集住化や機能集約）	166	16.6%
新産業創造（再生可能エネルギー産業など）や新起業（移住者など）による地域経済活性化と雇用の創出	151	15.1%
公区や集落ごとの特色やまとまりを生かす分散自立型の自治の推進	51	5.1%
特になし	69	6.9%
わからない	156	15.6%
その他	8	0.8%
全体	998	100.0%

年代別・職業別集計
年代別集計

		合計	既存産業の 収益と雇用の 「維持」	既存産業の 収益と雇用の 「拡大」	新産業創造 や新起業に よる地域経 済活性化と 雇用の創出	子どもを産 み、育てや すくなるた めの仕組 みづくり	子どもの育 成環境の仕 組みづくり	健康づくり や生きがい づくりのた めの仕組 みづくり	高齢者が活 躍でき、暮 らしやす くなるた めの仕組 みづくり	快適かつ利 便性の高い コンパクト なまちづく り
18～29歳	人数	48	7	5	6	20	13	11	8	12
	%		14.6%	10.4%	12.5%	41.7%	27.1%	22.9%	16.7%	25.0%
30～39歳	人数	63	15	13	10	37	34	12	14	11
	%		23.8%	20.6%	15.9%	58.7%	54.0%	19.0%	22.2%	17.5%
40～49歳	人数	162	35	33	31	66	71	36	42	31
	%		21.6%	20.4%	19.1%	40.7%	43.8%	22.2%	25.9%	19.1%
50～59歳	人数	154	43	39	24	49	34	23	45	27
	%		27.9%	25.3%	15.6%	31.8%	22.1%	14.9%	29.2%	17.5%
60～69歳	人数	172	45	40	32	57	37	45	55	35
	%		26.2%	23.3%	18.6%	33.1%	21.5%	26.2%	32.0%	20.3%
70歳以上	人数	299	61	48	48	59	45	77	107	48
	%		20.4%	16.1%	16.1%	19.7%	15.1%	25.8%	35.8%	16.1%
合計	人数	898	206	178	151	288	234	204	271	164
	%		22.9%	19.8%	16.8%	32.1%	26.1%	22.7%	30.2%	18.3%

		合計	公区や集落 ごとの特色 やまとまり を生かす分 散自立型の 自治の推進	森林など自 然環境の保 全や活用	再生可能エ ネルギーの 推進	仕事や暮ら しにおける 省エネル ギーの推進	地球温暖化 やゼロカー ボンへの適 応策の推進	特にな い	わから ない	その他
18～29歳	人数	48	3	11	13	13	12	5	7	0
	%		6.3%	22.9%	27.1%	27.1%	25.0%	10.4%	14.6%	0.0%
30～39歳	人数	63	6	17	20	21	13	2	9	0
	%		9.5%	27.0%	31.7%	33.3%	20.6%	3.2%	14.3%	0.0%
40～49歳	人数	162	5	39	57	46	36	13	15	3
	%		3.1%	24.1%	35.2%	28.4%	22.2%	8.0%	9.3%	1.9%
50～59歳	人数	154	8	32	42	27	28	7	28	2
	%		5.2%	20.8%	27.3%	17.5%	18.2%	4.5%	18.2%	1.3%
60～69歳	人数	172	10	29	43	29	36	11	27	2
	%		5.8%	16.9%	25.0%	16.9%	20.9%	6.4%	15.7%	1.2%
70歳以上	人数	299	19	48	53	34	52	30	68	1
	%		6.4%	16.1%	17.7%	11.4%	17.4%	10.0%	22.7%	0.3%
合計	人数	898	51	176	228	170	177	68	154	8
	%		5.7%	19.6%	25.4%	18.9%	19.7%	7.6%	17.1%	0.9%

囲みのあるセル：合計（最終行）よりも5ポイント以上高い場合

職業別集計

		合計	既存産業の 収益と雇用の 「維持」	既存産業の 収益と雇用の 「拡大」	新産業創造 や新起業に よる地域経 済活性化と 雇用の創出	子どもを産 み、育てや すくなるた めの仕組 みづくり	子どもの育 成環境の仕 組みづくり	健康づくり や生きがい づくりのた めの仕組 みづくり	高齢者が活 躍でき、暮 らしやす くなるた めの仕組 みづくり	快適かつ利 便性の高い コンパクト なまちづく り
経営者・役員	人数	91	32	37	24	37	29	19	24	22
	%		35.2%	40.7%	26.4%	40.7%	31.9%	20.9%	26.4%	24.2%
正規社員・職員・従業員	人数	261	63	59	46	113	90	56	69	58
	%		24.1%	22.6%	17.6%	43.3%	34.5%	21.5%	26.4%	22.2%
非正規社員・職員・従業員	人数	164	31	29	18	49	41	34	49	25
	%		18.9%	17.7%	11.0%	29.9%	25.0%	20.7%	29.9%	15.2%
専業主婦（主夫）	人数	99	19	7	11	15	20	27	35	10
	%		19.2%	7.1%	11.1%	15.2%	20.2%	27.3%	35.4%	10.1%
学生	人数	7	1	0	0	1	2	0	1	0
	%		14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	28.6%	0.0%	14.3%	0.0%
無職	人数	229	46	42	44	57	39	60	79	38
	%		20.1%	18.3%	19.2%	24.9%	17.0%	26.2%	34.5%	16.6%
その他	人数	43	15	6	8	16	14	8	12	10
	%		34.9%	14.0%	18.6%	37.2%	32.6%	18.6%	27.9%	23.3%
人数		894	207	180	151	288	235	204	269	163
%			23.2%	20.1%	16.9%	32.2%	26.3%	22.8%	30.1%	18.2%

		合計	公区や集落 ごとの特色 やまとまり を生かす分 散自立型 自治の推進	森林など自 然環境の保 全や活用	再生可能エ ネルギーの 推進	仕事や暮ら しにおける 省エネル ギーの推進	地球温暖化 やゼロカー ボンへの適 応策の推進	特にな い	わから ない	その他
経営者・役員	人数	91	10	22	27	24	22	5	7	2
	%		11.0%	24.2%	29.7%	26.4%	24.2%	5.5%	7.7%	2.2%
正規社員・職員・従業員	人数	261	10	47	74	66	55	18	29	1
	%		3.8%	18.0%	28.4%	25.3%	21.1%	6.9%	11.1%	0.4%
非正規社員・職員・従業員	人数	164	10	38	43	31	34	11	29	1
	%		6.1%	23.2%	26.2%	18.9%	20.7%	6.7%	17.7%	0.6%
専業主婦（主夫）	人数	99	3	14	20	18	16	10	25	1
	%		3.0%	14.1%	20.2%	18.2%	16.2%	10.1%	25.3%	1.0%
学生	人数	7	0	3	2	1	1	1	2	0
	%		0.0%	42.9%	28.6%	14.3%	14.3%	14.3%	28.6%	0.0%
無職	人数	229	14	43	48	27	41	20	54	2
	%		6.1%	18.8%	21.0%	11.8%	17.9%	8.7%	23.6%	0.9%
その他	人数	43	2	8	13	3	7	2	6	1
	%		4.7%	18.6%	30.2%	7.0%	16.3%	4.7%	14.0%	2.3%
人数		894	49	175	227	170	176	67	152	8
%			5.5%	19.6%	25.4%	19.0%	19.7%	7.5%	17.0%	0.9%

囲みのあるセル：合計（最終行）よりも5ポイント以上高い場合